

第五十二回帝國議會
衆議院

朝鮮事業公債法改正法律案外二件委員會會議錄(速)第四回

付託議案

朝鮮事業公債法改正法律案(政府提出)
臺灣事業公債法改正法律案(政府提出)
關東州事業公債法改正法律案(政府提出)
臺灣官設鐵道用品資金會計法改正法律案(政府提出)

會議

昭和二年二月十五日(火曜日)午後二時
三十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 牧山 耕藏君

理事 小野 重行君

中馬 興丸君 中野 寅吉君

紺野九右衛門君 高木 音藏君

古川 清君 秋田寅之介君

大園榮三郎君 中山 貞雄君

佐藤 潤象君

同月十日委員高山長幸君、十五日委員
野原種次郎君辭任ニ付其ノ補闕トシテ
十日秋田寅之介君、十五日佐藤潤象君
ヲ議長ニ於テ選定セリ

出席國務大臣左ノ如シ

外務大臣男爵 幣原喜重郎君

出席政府委員左ノ如シ

朝鮮總督府政務總監 湯淺 倉平君

朝鮮總督府財務局長 草間 秀雄君

朝鮮總督府鐵道局長 大村 卓一君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

朝鮮事業公債法改正法律案(政府提出)

○牧山委員長 ソレデハ是ヨリ開會致
シマス

○古川委員 私ハ先ヅ外務大臣ノ御出
席モアリマスカラ、日本海ニ面スル本

州ノ——吾ハ北韓及北滿トノ交通ニ
於テ、最モ重大ナル關係ヲ持ッテ居ル此
吉會鐵道、即チ吉林ト會寧ノ鐵道ノ完
成ト云フコトハ、非常ニ切望シテ居ル
者デアリマス、是ハ管ニ北韓ト北滿ト
ノ交通バカリデハナイ、日本海ニ面ス
ル本州ニ重大ナル關係ヲ持ッモノデア
リマスカラ、此完成ヲ常ニ切望シテ已
マヌ者デアリマスガ、道路傳フル所ニ
依ルト、吉會鐵道ガ出來ルト南滿鐵道
ニ非常ナ打撃ヲ受ケルカラト云フノデ、
南滿鐵道會社ガ或ハ反對スルヤウナ態
度ニ出テ居ルト云フヤウナコトモ聽イ
テ居リマスケレドモ、ソレガ果シテ事
實デアルヤ否ヤハ分リマセヌガ、今日
マデ支那トノ關係ニ於キマシテ、吉會
鐵道ガ如何ナル程度マデ進ンデ居リマ
スカ、又是ハ何時頃現出スルヤウニナ
ルノデアリマスカ、ソレヲ外務大臣カ
ラ出來ルダケ詳細ナル御説明ガ願ヒタ
イ

○幣原國務大臣 吉會鐵道ノ敷設サレ
ルコトニ對シテ滿鐵會社ヨリ苦情ガア
ル、異議ガアルト云フコトデアリマス
シ、左様ナ事實ハナイノデアリマス、
滿鐵ハ此吉會線ニ對シテ異議ヲ唱ヘテ
妨害ヲ加ヘルト云フヤウナ事實ハ毛頭ア
リマセヌ、滿鐵ニ於キマシテモ、快ク此
鐵道ノ敷設セラレンコトニ承諾ヲ與ヘ
テ居ルノデアリマスガ、御承知ノ如ク
此問題ハ支那官憲トノ交渉ヲ要スル問
題デアリマス、政府ニ於テモ常ニ此鐵
道ニ付キマシテハ、十分注意ヲ加ヘテ
居ル次第デアリマスルケレドモ、今日
ノ所ニ於キマシテハ、マダ支那官憲ト
何等具體的ノ交渉ガ進ンデ居ル譯デハ
ナイノデアリマス、今日ノ程度ニ於キ
マシテハ、如何ナル形式デ、ドウ云フ風
ナ方法デ此鐵道ノ完成ヲ期スルカト云
フコトハ、マダ申上ゲ得ル時期デモア
リマセズ、マダ話ガソレ程熟シテ居ラ
ヌノデアリマス、併ナガラ日本側ノ關
スル限り、何等困難ナ異議ガアルト云
フヤウナコトハ斷ジテアリマセヌ

○古川委員 今外務大臣ノ御説明ハ、
マダ何等具體的ニ進ンデ居ラヌト云フ
御話デアリマスガ、之ニ就テハ將來御
見込ハ立ッテ居ルノデアリマスカ、大概
ドノ位ノ月日ガ經テバ出來ルトカ、今
又外務省ニ於テハ之ヲヤルト云フ、是
ハ餘程重大ナ問題デアリマス、先刻申
シマシタ通り、唯北韓ノ開發バカリデ
ハナイ、日本ノ本州ニ於ケル重大ナ、貿
易上總テノ産業工業ノ發達上重大ナ關
係ヲ持ッモノデアリマスガ、一體外務
省デハ之ヲ本氣ニオヤリニナル御考ガ
アルノデアリマスカ、最近ニ早ク解決
スルヤウナ御見込ガアリマスカ

○幣原國務大臣 申スマデモナク此鐵
道ハ日本ノ政府ガ敷設スルノデハナ
イノデアリマス、支那ノ領土内ニ於テ
日本ノ當業者ガ之ヲ敷設スルニ付キマ
シテハ、固ヨリ支那ノ同意ヲ——承諾
ト云フコトガ要ルノデアリマス、純然
タル支那ノ鐵道ト云フ形式デ敷設セラ
レルコトニナリマスレバ、尙更日本側
ヨリ何時敷設サレルカ、ドウ云フ形式
デ敷設サレルカト云フコトヲ豫言スル
コトハ、到底出來ヌ話デアリマス、併ナ
ガラ吾ミト致シマシテハ、成ルベク速
ニ此鐵道ガ敷設サセルヤウニ希望致シ
テ居リマスカラ、其爲ニ注意ヲ怠ッテ居
リマセヌケレドモ、今日此鐵道ガ愈
何時頃ニナレバ敷設サレルカ、支那側
トノ交渉ガ何時頃纏ルカト云フコトハ、
是ハ今日私ト雖モ、又何人ト雖モ豫言
シ得ル問題デハナカラウト考ヘマス

○古川委員 朝鮮ノ當業者ハ、此鐵道
ニ對シテドンナ御考ヲ持ッテ居リマス
カ、朝鮮ノ政府委員ノ御意見ヲ承リタ
イ

○湯淺政府委員 朝鮮總督府ト致シマ
シテモ、別ニ變ッタ考ハ持ッテ居リマ
セヌ、兎ニ角此線ガ出來レバ非常ニ結

構ナコト、考ヘテ居リマス

○古川委員 之ヲ助成セシメルヤウナ、何等別ニ方法ヲ御講ジニナラヌノデアリマスカ

○湯淺政府委員 兎ニ角是ハ他國ノ領土内ニ敷設セラルベキ鐵道ノコトデアリマスカラ、朝鮮總督府ガ之ニ對シテ如何ナル考ヲ持ッテ居ルカト云フコトヲ只今申上ゲルト云フコトハ其時期ニモ達シテ居リマセヌシ、適當デアアルマ

イカト考ヘテ居リマス
○牧山委員長 如何デスカ
○古川委員 サウ云フ答辯デアレバ、後ト餘計ニ聽ク必要モアリマセヌ
○牧山委員長 此席カラ一寸外務大臣ニ御同致シマスガ、多年ノ懸案デアリマシタ圖們江ノ橋梁架設問題ガ、既ニ支那政府ト解決ヲ致シタト云フコトヲ聞イテ居リマスガ、其經過ノ大要ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○幣原國務大臣 委員長ノ御話ノ通り、此圖們江ノ架橋ノ問題ハ解決致シマシテ、既ニ工事ニ著手致シテ居ルノデアリマスルガ、其詳シイ事ハ私モ能ク承知致シテ居リマセヌ、恐ラクハ政務總官ノ方ガ能ク御承知デアラウト思ヒマス
○湯淺政府委員 此事ニ付キマシテハ、從來御承知デアリマスカ存ジマセガ、是マデ上三峰ノ地點ニ於テ圖們江ニ假ノ橋ガ架ッテ居ルノデアリマスガ、併シ構造モ極メテ不完全ナモノデアリマスシ、之ヲ架換ヘルト云フコトニ付キマ

シテハ、圖們鐵道ニ於テ是ガ架換ヲ致スコトノ計畫ヲ定メマシテ、サウシテ支那官憲ト交渉ヲ重ネマシタ結果、其議ガ纏マリマシテ、愈之ヲ架ケルト云フコトニ折角進行中ニ相成ッテ居ル次第デアリマス

○古川委員 モウ一度外務大臣ニ伺ヒタイ、此吉會鐵道ニ付テ、外務當局ハ支那官憲ト何カ今マデ御交渉ガアッタコトガアリマスカ、又目下交渉ヲシテ居ラレルノデアリマスカ、ソレダケ一寸伺ヒマス

○幣原國務大臣 此問題ハ直接ニ外務省ト支那官憲トノ交渉デアアリマセヌ、關係致シマス所ノ日本ノ資本家ト、ソレカラ支那官憲トノ交渉ノ問題デアリマス、外務省ヨリ別ニ支那官憲ニ今日交渉致シテ居ルト云フコトモアリマセズ、又左様ナ交渉ヲ今日豫想シテハ居リマセヌ

○牧山委員長 一寸私ヨリ外務大臣ニ伺ヒタイト思ヒマスガ、吉會鐵道ハ帝國ノ大陸政策ノ上カラ見テ、極メテ必要ナ鐵道ダト思フノデアリマス、是ハ國民一致ノ希望デアアル、是ハ唯單ニ帝國ノ國防トカ、或ハ經濟的の利益ト云フノミナラズ、日支兩國ノ産業開發若クハ滿蒙開拓ノ上カラ見テ、洵ニ欣バシイコト、思フノデアリマスルガ、先刻來ノ外務大臣ノ御答辯ヲ此處デ伺ヒマスト極メテ冷淡ナヤウニ思フノデアリマス、外務省トシテハ一向進ンデ交

渉ノ必要ヲ認メテ居ラヌト云フヤウナ御口吻デアアリ、民間ノ資本家ガヤッテ居ルト云フヤウナコトデ、餘リ力ヲ注イデ居ラヌヤウニ思フノデアリマスルガ、外務省トシテモ國策ノ遂行上、今少シ熱心ニ解決ニ力ヲ注グト云フ御考ハナイノデアリマスルカ、此問題ニ付テハ支那トハ何等ノ交渉ヲ外務當局トシテオヤリニナッテ居ラヌト云フコトニ先刻ノ御言葉ノ模様デハ察セラレマスルガソレニ違ヒアリマセヌカ

○幣原國務大臣 或ハ私ノ申シタコトガ足りナカッタカモ知レマセヌ、此問題ニ對シテ吾ハ決シテ冷淡デアアル、政府トシテ一向力ヲ入レテ居ラヌト云フコトデハ勿論無イノデアリマスルケレドモ、問題ノ當然ノ性質ト致シマシテハ、是ハ日本ノ資本家ト支那官憲トノ交渉ニドウシテモナラナケレバナラヌノデアリマス、政府ハ自國ノ政治上ノ目的トカ、或ハ國策ノ遂行ノ目的ノ爲ニ此鐵道ヲ架ケルノデハナイノデアリマス、隨テ日本政府トシテ、他國ノ領土内ニ於テ日本ノ國策ノ爲ニ鐵道ヲ架ケルト云フヤウナ感ジヲ與ヘマスコトハ、非常ナ誤解ヲ致シマシテ、何等ノ利益ガナイ、此鐵道ヲ架ケルト云フコトガ日本ノ爲ニモ、亦滿洲ノ人ノ爲ニモ利益デアルト私ハ思考シテ居リマス、此問題ト關係セヌカ知レマセヌガ、私ハサウ思考シテ居リマス、ソレ故ニ之ニ向ッテ十分ノ注意ヲ拂ヒ、出來ルダケ援

助ヲ與ヘルト云フ考ハ持ッテ居リマスルケレドモ、政府ノ方カラソレニ向ッテ談判ヲ開ク、是ハ大分筋合ノ違ッテ話デアラウト考ヘマシテ、私ハ先刻左様ニ答ヘタノデアリマス、日本ノ資本家ト支那ノ官憲ト交渉ニ俟ツベキモノデ、支那政府ニ向ッテ之ヲ要求スルトカ、直接ニ政府カラ交渉スルト云フヤウナ筋合デハナイ、斯ウ云フ筋デ私ハ御答申シタノデアリマス

○牧山委員長 尙ホ御尋致シマスガ、是ハ寺内閣ノ時代ニ、此問題ニ關シテハ既ニ支那ト約束ヲサレテ居ルコトモアルノデアリマス、尤モ當時トハ大變事情ガ違ッテ居リマスルケレドモ、矢張政府トシテ交渉ヲシテ來タ歴史モアリマスルシ、又之ヲ本當ニ遂行シヤウト思ヘバ、民間ノ資本家ノミニ委シテ、ソレデ目的ガ達成サレルモノトハ思ハレナイノデアリマスガ、只今ノ御答辯ノ中ニハ、少シ助成ヲシテモ宜シイト云フヤウナ意味モアリマスガ、大體ニ於テ政府トシテハ先ヅ成行ニ任シテ、政府自體トシテハ進ンデ此問題ノ解決ニ付テ支那ト交渉スルト云フ御考ハ、只今ノ所デハナイト了承シテ宜シウゴザイマスカ
○幣原國務大臣 左様ナ精神デハナイ、私ハ筋道カラ申セバ、日本ノ官憲カラ支那ノ官憲ニ對シテ要求シ、交渉スベキ性質ノモノデハナイ、日本政府ニ關スル限りハ、日本ノ當業者、資本家ガ此

問題ニ付テ支那官憲ト交渉シマス上ニ於テ、出來ル限リ便宜ヲ與ヘ、指示ヲスルト云フコトハ、是ハ當然ノ話デアリマス、ソレ以外ニ此問題ニ付テ吾ミハ絶エズ注意ヲ拂ッテ居ル積リデアリマス、政府ガ直接支那ニ對シテ交渉ヲ初メルト、支那官憲ニ取ッテ見レバ、ソレナラバ何カ日本ガ政治上ノ目的、國策遂行ノ爲ニヤルダラウト云フ誤解ヲ來シ、却テ目的ヲ達スル所以デナイノデアリマス、此問題ヲ満足ニ進行スル爲ニハドウシテモ資本家ト支那官憲ノ交渉デナケレバナラス、立テ前ガサウ云フコトデナケレバナラス、日本政府カラ進ンデ支那ニ對シテ要求スルト云フコトデハ、此目的ハ達シマイ、斯ウ云フ精神ヲ私ハ申上ゲタノデアリマス

○秋田委員 前回ニ委員長カラ請求サレテ居ッテ、朝鮮及臺灣ニ於ケル各鐵道會社ノ買収ニ關スル考課狀其他ノ參考書類ハ揃ッタノデアリマスカ、揃ッテ居レバ戴キタイ

○牧山委員長 政府ヨリノ參考資料ハ委員諸君ニ配付シタノデアリマス、委員ガ御變リニナリマシタノデ、マダ御手許ヘ行ッテ居ラヌ方ガアルカ知レマセヌガ、早速御手許ヘ差上ゲルコトニ致シマス

○中山委員 今ノ外務大臣ノ御話ハ御尤デアリマス、資本家ガ海外ニ出テサウ云フ仕事ヲスル、政府ガ鞭撻スルトカ援助スルト云フコトハ當然デアアル、

自國ノ國策遂行ノ上ニ必要デアルト認メタ場合ハ、政府自ラヤルト云フコトハ、他國ノ領土ナルガ故ニ直接國際關係ノ上ニ於テ困難ガアル、是モ當然デアアル、併ナガラ國策遂行上必要ナリト認メタ場合ニハ、政府ハ資本家ヲソコニ誘導スル途ニ出デナケレバナラヌト云フ考デアリマスカ、ソレ等ニ對シテ何等カ御考ニナッタコトガアリヤ否ヤト云フコトヲ一寸御尋致シマス

○幣原國務大臣 是ハ國策遂行ノ爲ニスル、サウ云フ議論ハ議論サレナイ方ガ宜イデハナイカト私ハ思フノデアリマス、無論當局者ガ懸ッテ打抛ッテ置ケバ或ハ交渉ヲ全ク始メル餘地ガナイカモ知レマセヌガ、ソレニ對シテ吾ミハ鞭撻ト申シマスカ、少シ話ガ角立ツヤウデアリマスカレドモ、助成ヲ與ヘ、援助ヲ與ヘテ、出來ルダケ圓滿ナル進行ヲ助ケル爲ニ力ヲ盡スト云フコトハ、喜ンデ政府ノ致ス所デアリマスカ、又今日マデ致シ來ッタ所デアリマス

○牧山委員長 尙ホ此機會ニ於テ一寸外務大臣ニ御伺致シマスカ、朝鮮人ニシテ支那及露領方面ニ移住スル者ガ非常ニ多イノデアリマス、其數ハ既ニ百萬ト稱セラレ、二百萬ト唱ヘラレテ居ルノデアリマスカ、此朝鮮人ノ他國移住ニ對シテ、外務當局トシテハドウ云フ御方針デアリマセウカ、獎勵ヲナサルノデアリマスカ、或ハ成ベク之ヲ防止ナサル御方針デアリマスカ、又是

等ノ多數ノ朝鮮人ガ滿洲、西伯利方面ニ居ッテ、中ニハ中々心得違ヒノ者モアツテ、種々朝鮮内ニ惡宣傳ヲシテ、朝鮮ノ統治ニ妨害ヲ加ヘルト云フヤウナコトモアルノデアリマスカ、在外朝鮮人ノ保護取締ト云フコトニ付テハ、ドウ云フ御方針デアアルカ伺ヒタイノデアリマス、朝鮮總督府ノ豫算ニ在外朝鮮人ノ施設ニ對スル經費ガ載ッテ居リマスカ、總督府自體トシテハ、朝鮮ノ地域以外ニ於テハ機關ヲ持タレヌノデアリマスカ、總督府ノ豫算ニ其經費ガ計上サレテ居ルノヲ吾ミハ年々協賛ハ致シテ居リマスカレドモ、其效果ノ上ニ於テハドウデアアルカ、寧ロ外務省ノ所管ニ移サレル方ガ或ハ實績ヲ舉ゲル上ニ於テハ宜クハナイカ、斯ウ考ヘルノデアリマス、尙又朝鮮人ハ御承知ノ通り二重國籍ヲ持ッテ居ル、支那ニ國籍ヲ有シタリ、露西亞ニ國籍ヲ持ッテ居リマスカ、朝鮮ニハ國籍法ガ行ハレテ居ラナイノデアリマスカ、二重國籍ヲ持ッテ居ル、臺灣ニハ既ニ國籍法ガ行ハレテ居ルノデアリマスカ、外務大臣トシテ在外朝鮮人ノ狀態ヲ御覽ニナッテ、此二重國籍ノ問題ヲ解決スルト云フコトガ帝國ノ爲ニ利益デアアルカ、或ハ不利益デアアルカ、斯ウ云フ點ニ付テハ十分御考慮ニナッテ居ルト思フノデアリマスカ、此機會ニ於テ是モ承リタイ

○幣原國務大臣 第一ノ問題ハ、朝鮮人ノ海外移住ヲ獎勵スル方針デアアルカ、或ハ之ヲ阻止スル方針デアアルカト云フコトデアリマス、是ハ實ハ主トシテ朝鮮總督府ノ方御決定ニナルベキ問題デアラウカト考ヘルノデアリマスカ、私ハ朝鮮人ノ海外移住ヲ阻止スル必要ハ毛頭アルマイト思フノデアリマス、朝鮮人ガ海外ニ行ッテ發展致シマス上ニ於キマシテハ、政府ハ出來ルダケ之ニ便宜ヲ與ヘ保護ヲ與ヘルト云フコトハ、是ハ當然ノ話デアラウト考ヘルノデアリマス、ソレカラ國籍ノ事ヲ御聞キニナリマシタガ、申スマデモナク朝鮮ノ今日ニ於ケル現行法規ニ於キマシテハ、朝鮮人ガ其國籍ヲ離脱シ得ル法規ガナイノデアリマスカ、外國ノ國籍ヲ取得致シマシテモ、依然トシテ帝國臣民トシテノ國籍ヲ保留致スト云フコトニナリマスカ、當然二重國籍ノ問題ガ起ルノデアリマス、二重國籍ノ問題ガ起ルト云フコトハ、是ハ決シテ望マシイコトデハナイノデアリマス、何カ之ヲ解決スルノニ然ルベキ方法ガアレバ、是ハ解決スル方ガ宜シカラウト思フノデアリマス、此問題ニ關シマシテハ、實ハ私ハ自分一個ノ私案ト云フモノハアルノデアリマスカレドモ、全ク私ノ私案ニ止マッテ居リマシテ、今日此處デ申上ゲテモ一向益ノナイコトダト考ヘマス、モウ少シ政府ノ案トシテ練ルヤウニナリマセヌケレバ、自分一個ノ私案ヲ今日申上ゲテモ、唯誤解ヲ來スダケデアッテ何ノ益モナイコト

トダト考ヘマス、ソレカラ在外鮮人ノ施設費、是ハ支那方面ニ於テ朝鮮總督府ガ色々ノ施設ヲサレル上ニ於キマシテハ、無論我ガ領事館——外務省ノ機關ト協力シテ、聯絡ヲ取ツチャツテ居ル次第デアリマスカラ、施設上ニ於テ何等ノ不都合不便利ト云フモノハ生ジテ來ナイモノト考ヘテ居リマス、主管ガ總督府ニ在ルカ、外務省ニ在ルカト云フコトハ、實ハ大キナ問題デハナカラウカト考ヘマス、要スルニ事務ガ不統一ニナツテ、圓滿ナル施行ガ出來ナケレバ、是ハ重大ナル問題デアリマスルケレドモ、今日ノ所デ私が知ツテ居リマス限リニ於テハ、朝鮮ノ方ノ官憲トモ、或ハ領事館ノ側ノ官憲トモ、極メテ圓滿ニ密接ナル關係ヲ以テ仕事ヲヤツテ居ルヤウデアリマス、吾々ガ接シテ居リマス報告デハ、大體満足ナル成績ヲ舉ゲテ居ルト云フコトデアリマス

○牧山委員長 外務大臣ニ御尋ヲ致シマスガ、是ハ諸般ノ情報ニ依テ外務大臣ガ十分ニ御承知ノコトデアルト信ジマスルガ、在外朝鮮人ノ動靜ニ付テハ、吾々洵ニ遺憾ヲ感ズルコトガ多イノデアリマス、上海ニハ假政府ト云フモノヲ置イテ、朝鮮内ニ非常ニ惡宣傳ヲヤルノデアリマス、彼等ハ佛蘭西ノ租界ナドニ集リ喰テ居ルノデアリマス、サウシテ朝鮮内ニハ假政府ノ資金ヲ募ルト云フヤウナコトデ、先年來多數ノ僭稱假政府ノ者ガ入ツテ來マシテ、莫大ナル資金ヲ得テ之ヲ上海ニ送ツテ居ルト云フヤウナ譯デアアル、サウシテ朝鮮人ノ惡宣傳ハ極メテ巧ミデアツテ、總督府當局モ非常ニ御困リニナツテ居ルヤウニ見受ケルノデアリマスガ、朝鮮統治ノ實績ヲ舉グルニハ、ドウシテモ此在外鮮人ノ保護、指導及取締其宜シキヲ得テ、彼等ガ朝鮮内ニ惡イ空氣ヲ送ラナイヤウニシテ行クト云フコトガ非常ニ必要ノヤウニ思フノデアリマスガ、之ニ對シテハ今日迄ハ殆ド何等ノ施設ヲシテ居ナイヤウニ思フノデアリマス、例ヘバ外務大臣ニ朝鮮人ノ國外移住ト云フコトハ御獎勵ニナルノデアアルカ、又防止サレルノデアアルカト云フト、防止モシナイ、獎勵モシナイト云フヤウナコトデ、全ク無方針ノヤウニ思ハレテ、私ハ洵ニ此點遺憾ニ存ズルノデアリマスガ、モウ少シ赤誠ヲ披瀝シテ御答辯ヲ得ルコトハ出來マセヌデセウカ

○幣原國務大臣 赤誠ヲ披瀝シテ御答辯ヲ得ラレナイカト云フコトデアリマスガ、私ハ眞實左様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、日本ノ政府カラシテ、今朝鮮人ハ海外ニ行ク方ガ宜イ、斯ウ云フコトヲ申シマスレバ、朝鮮人ニ對シテドウ云フ感シヲ與ヘルデアリマセウカ、詰リ自分等ノ住ンデ居ッタ土地、家カラハ、段々吾々ヲ放逐シテ日本人ガ入ッテ來ル積リデアアル、斯様ナ誤解ヲ私ハ與ヘルデアラウト思フノデアリマス、彼等ガ進ンデ海外ニ參リマスト云フ場合ニハ、出來ルダケ之ニ保護ヲ與ヘ、便宜ヲ與ヘルト云フコトハ當然ノ話デアアル、朝鮮人ガ餘リ乘氣ニナツテ居ラヌモノヲ日本ノ官憲ガ進ンデ之ヲ獎勵シテ、成ベク海外ニ出テ行クヤウニト云フコトハ、是ハ餘程私考ヘモノデアラウト思フ、上海方面ニ於テ、彼等ノ中ニ朝鮮ノ政治ニ對シテ危險ナル企テヲ致シテ居ル者ガアル、是ハ事實左様デアリマスケレドモ、近頃ニ於キマシテハ、餘程各方面ノ機關ノ聯絡ガ能ク取レテ居ルカラ、大シタ行動ヲ彼等ハ爲シ得ナイト考ヘテ居ルノデアリマス、先ヅ今日ニ於テハ出來ルダケノ取締ノ方法ハ講ジテアル積リデアリマス

○牧山委員長 私マダ少シ其點了解ヲ得ナイノデアリマスガ、朝鮮人海外移住ノ事デアリマス、内地ニ於テハ大體移民政策ト云フモノガ定ツテ居ルノデアリマス、朝鮮ニ於テハ總督府トシテモ全ク方針ガナイノデハナイカト思フノデアリマスガ、重ネテ政務總監ヨリ此朝鮮人ノ移住問題ニ付テ御答辯ヲ煩シタイト思ヒマス、又外務大臣トシテハ、朝鮮人ガ滿蒙若クハ露領方面ニドシ流出ルト云フコトガ、國際關係ノ上ニ於テ好イ影響ヲ及ボシテ居ルト御考ニナリマスガ、又外交上將來面倒ナル結果ヲ來シハセヌカト云フ御心配ニナツテ居ルノデアリマセウカ、只今ノ狀態デ抛ツテ置ケバ、幾ラデモ出テ行クト思フノデアリマス、此點ニ付テ外務大臣並政務總監ヨリノ御答辯ヲ得タイト思ヒマス

○湯淺政府委員 朝鮮總督府ノ關係ダケノコトヲ御答致シマス、朝鮮總督府ト致シマシテモ、外務大臣ヨリ御答辯ニナリマシタ所ト少シモ方針ハ違ツテ居リマセヌ、牧山君ハ能ク朝鮮ノ事情ニハ御精通ニナツテ居リマスノデ、私カラ諄々シク申上ゲル必要ハナイト思ヒマスガ、朝鮮ノ人ガ間島方面ニ年々非常ニ増シテ參ッテ居ルノデアリマスガ、之ニ對シテ朝鮮ノ人ハ往々ニシテ彼此レ其事ニ付テ議論ヲシテ居ルコトハ新聞ノ記事ニ付テ御承知ノコト、考ヘル、内地ト朝鮮トハ少シ趣ヲ異ニシテ考ヘルナケレバナラヌノデアリマスガ、新附ノ民ハ動モスレバ誤解ヲ起シ易イ傾キガアルノデアリマス、朝鮮ノ人ガ國外ニ出テ行クノヲ、當局ガ喜ブト云フヤウナ意向デモ當局ニアルコトニナリマス、新附ノ民ガ非常ニ之ヲ怨ムト云フコトハ免レナイ、墳墓ノ地ヲ離レタクナイノハ本來人ノ自然ノ情デアルト思ヒマスガ、取分ケ朝鮮ハマダ文化ノ程度モ低イノデアリマス、之ヲ政府當局ノ方針トシテ國外ニ出スト云フヤウナコトハ、統治上望ムベキ事デナイト思ヒマス、斯様ニ私ハ考ヘテ居リマス、サリナガラ朝鮮ノ人ガ自然國外ニ發展ヲスル、或ハ何カノ事情デ移住ヲスルコトニナリマシテ、外ニ居ル者ニ對シテ

ハ、出來ルダケ保護ニ付テ注意ヲシナケレバナラヌコトト考ヘマス、之ヲ要約シテ申シマス、朝鮮ノ人ガ外ヘ出行クノヲ朝鮮總督府ハ獎勵ハ致シマセヌ、又自然ノ發展、自然ノ移住ニ付キマシテハ、之ヲ阻止モ致シマセヌ、而シテ外ニ出テ居ル者ニ對シテハ、力ノ及ブ限リ懇切ニ保護ヲシテ參ルト云フコトガ、朝鮮總督府ノ方針ト御承知ヲ願ヒタイ

レドモ是ハ吾トシテハ差止メ得ル間題デハナイト考ヘルノデアリマス、併ナガラ此爲ニ朝鮮ノ統治ニ脅威ヲ及ボシテ居ルト云フヤウナ事實ハナカラウト思フノデアリマス、詰リ日本ノ法規ノ及ブ限リニ於テ、出來ルダケノ取締ヲ加ヘルト云フ外方法ハナイノデアリマス、日本ノ治外法權ヲ有シテ居ラヌ外國ノ領土ニ居リマス以上ハ、之ヲ直接ニ取締ヲスル方法ハアルマイカト思ヒマス

ガ、之ヲ實施シテ行ク上ニ於キマシテハ、更ニ細目ノ協定ガ要ルノデアリマス、ソレガ爲ニ度々是等ノ問題ニ關シテ、奉天ノ官憲ト日本ノ總領事館トノ間ニ話合ガ始マツタノデアリマスガ、今日迄ドウシテモ話ガ纏マラヌノデアリマス、是ハモウ殆ド年々此問題ニ苦メラレテ居ルノデアリマスガ、支那側ノ見地カラ申セバ斯ウ云フノデアリマス、支那ノ内地ヘ朝鮮人デモ日本人デモ這入ッテ來テ商租權ヲ得ル、然ルニ其人間ガ犯罪ヲ致シ、或ハ民事上ノ爭ヲ致スト云フ場合ニ於テ、支那ノ官憲ハドウシテモ之ニ手ヲ著ケラレヌカラ、治外法權ヲ享有シテ居ル以上ハ何トモ致方ガナイ、斯様ナ事ハ支那ノ官憲トシテハ危險千萬デアル、ソレヨリ治外法權ノ問題ヲ解決シテ、愈日本ガ治外法權ヲ讓ルナラバ別問題デアルケレドモ、今日治外法權ヲ其儘享有シナガラ商租權ヲ施行シテ、内地デ土地ニ關スル權利ヲ許與スルコトハ、支那ノ方デハ行ハレヌト云フコトヲ申シテ居リマス、隨テ此問題ハ治外法權問題トモ關係ヲ持ツヤウニナツタノデアリマス、併ナガラ吾々ハ其治外法權問題ニ觸ル、コトナクシテ、何カ外ニ適當ナル解決ノ方法ヲ講ズル餘地モアルダラウト私ハ考ヘテ居リマシテ、今日ニ於テモ治外法權問題ニ接觸セズシテ、是ガ解決ニ努力ヲ致シテ居ル次第デアリマス、大正五年以來今日ニ至ルマデ此問題ガ未ダ

決定シテ居ラヌ、歷代ノ政府ノ時代デモ、此問題ニ付テハ訓令ヲ下シテ交渉ヲ開始シテ、未ダ成功シナイコトハ、如何ニ此問題ガ複雑デ困難ナ問題デアルト云フコトヲ御承知ヲ願ヒタイノデアリマス、政府トシテハ此問題ヲ一日モ等閑ニ附シテ居ル譯デハナイノデアリマス、一ツハ此滿洲方面ニ於テ例ヘバ張霍戰爭トカ、色々ナ戰爭ノ問題ガアリマスルト、此滿洲ノ奉天ノ官憲ナカデハ、斯ウ云フ問題ニ力ヲ盡ス實ハ餘暇ト云フカ、餘裕ト云フカハナイノデアリマス、今日ニ於テモ御承知ノ如ク張作霖將軍ハ既ニ北京マデ出掛ケテ居ルト云フヤウナ現況デアリマス、支那ノ實際ノ現狀ニ顧ミテ、此問題ヲ急速ニ解決ヲ期スルコトハ容易デナイノデアリマス、ケレドモ、吾々ハ彼ノ大任ヲ以テ、ドウカシテ此問題ノ解決ニ盡シタイト云フ其方針ヲ以テ、唯此問題ニ注意致シテ居ル次第デアリマス、此問題ガ解決致シマスレバ、朝鮮人ノ間ニモ非常ニ便利ニナリ、或ハ日本人ノ間ニモ便利ニナル、無論左様ニナルデアラウト考ヘマス、併ナガラ此問題ノ成行ハ只今申シタ通りデアリマス

○秋田委員 モウ一度外務大臣ニ伺ヒマスガ、餘リニ外務省ハ官僚式ノ交渉デ、實際ニ力ヲ入レテ國民ヲ彼ノ地ニ移民セシメルト云フ、眞劍ニ力ヲ御入レニナラヌデ、所謂外交的ノ話ダケデ、實際支那ニ向ッテ其條約ニ基イテ強イ

○幣原國務大臣 朝鮮人ガ滿洲ノ方面或ハ露領西伯利方面ニ隨分多數ナ人間ガ參ッテ居ル、是ハ國際關係ニドウ云フ影響ヲ及ボシテ居ルカト云フ御質問デアリマスガ、國際關係ニ於テ何等ノ惡イ影響ハ及ボシテ居ラヌト私ハ思フノデアリマス、今日ニ於テ朝鮮人ガ滿洲方面ニヤツテ來ル、或ハ露領方面ニヤツテ來ルト云フ爲ニ、何等ノ不平モ不滿モ私ハ聞イタコトハナイノデアリマス、國際關係ニ於テ不利ナル影響ヲ及ボシテ居ルヤウニハ私ハ考ヘテ居リマセヌ

○秋田委員 外務大臣ニ一寸伺ヒマスガ、朝鮮人ガ近來滿鐵沿線及奉天省ニ耕作ノ爲ニ出稼イデ居ル者ガ隨分多數アルト思ッテ居ル、又此耕作ニ付テ、支那ト日本トノ間ニハ商租ノ條約ガ出來テ居ルト思ッテ居リマスガ、是ハ此條約ノ出來タノハ七八年前カト記憶シテ居リマスガ、然ルニ今尙ホ是ガ現實ニ行ハレテ居ナイ爲ニ、朝鮮人及其他ノ移民ガ彼ノ地ニ行ッテ耕作ヲシヤウトシテモ、支那官憲ノ爲ニ壓迫サレテ目的ヲ達スルコトガ出來ナイ、斯ウ云フ事ヲ耳ニシテ居ルノデアリマスガ、若シ果シテ七八年前ニ其條約ガ出來テ居ルモノトスレバ、外務省ハ其條約ニ基イテ、朝鮮人及其他ノ移民、日本人ヲ保護サレルト云フコトハ出來ナイノデアリマスガ、其邊ヲ伺ヒタイ

○幣原國務大臣 商租ノ問題ニ付キマシテハ、御承知ノ如ク大正五年ノ日支條約ノ中ニ大體ノ主義ノ規定ガアリマスガ、之ヲ實施シテ行ク上ニ於キマシテハ、更ニ細目ノ協定ガ要ルノデアリマス、ソレガ爲ニ度々是等ノ問題ニ關シテ、奉天ノ官憲ト日本ノ總領事館トノ間ニ話合ガ始マツタノデアリマスガ、今日迄ドウシテモ話ガ纏マラヌノデアリマス、是ハモウ殆ド年々此問題ニ苦メラレテ居ルノデアリマスガ、支那側ノ見地カラ申セバ斯ウ云フノデアリマス、支那ノ内地ヘ朝鮮人デモ日本人デモ這入ッテ來テ商租權ヲ得ル、然ルニ其人間ガ犯罪ヲ致シ、或ハ民事上ノ爭ヲ致スト云フ場合ニ於テ、支那ノ官憲ハドウシテモ之ニ手ヲ著ケラレヌカラ、治外法權ヲ享有シテ居ル以上ハ何トモ致方ガナイ、斯様ナ事ハ支那ノ官憲トシテハ危險千萬デアル、ソレヨリ治外法權ノ問題ヲ解決シテ、愈日本ガ治外法權ヲ讓ルナラバ別問題デアルケレドモ、今日治外法權ヲ其儘享有シナガラ商租權ヲ施行シテ、内地デ土地ニ關スル權利ヲ許與スルコトハ、支那ノ方デハ行ハレヌト云フコトヲ申シテ居リマス、隨テ此問題ハ治外法權問題トモ關係ヲ持ツヤウニナツタノデアリマス、併ナガラ吾々ハ其治外法權問題ニ觸ル、コトナクシテ、何カ外ニ適當ナル解決ノ方法ヲ講ズル餘地モアルダラウト私ハ考ヘテ居リマシテ、今日ニ於テモ治外法權問題ニ接觸セズシテ、是ガ解決ニ努力ヲ致シテ居ル次第デアリマス、大正五年以來今日ニ至ルマデ此問題ガ未ダ

決定シテ居ラヌ、歷代ノ政府ノ時代デモ、此問題ニ付テハ訓令ヲ下シテ交渉ヲ開始シテ、未ダ成功シナイコトハ、如何ニ此問題ガ複雑デ困難ナ問題デアルト云フコトヲ御承知ヲ願ヒタイノデアリマス、政府トシテハ此問題ヲ一日モ等閑ニ附シテ居ル譯デハナイノデアリマス、一ツハ此滿洲方面ニ於テ例ヘバ張霍戰爭トカ、色々ナ戰爭ノ問題ガアリマスルト、此滿洲ノ奉天ノ官憲ナカデハ、斯ウ云フ問題ニ力ヲ盡ス實ハ餘暇ト云フカ、餘裕ト云フカハナイノデアリマス、今日ニ於テモ御承知ノ如ク張作霖將軍ハ既ニ北京マデ出掛ケテ居ルト云フヤウナ現況デアリマス、支那ノ實際ノ現狀ニ顧ミテ、此問題ヲ急速ニ解決ヲ期スルコトハ容易デナイノデアリマス、ケレドモ、吾々ハ彼ノ大任ヲ以テ、ドウカシテ此問題ノ解決ニ盡シタイト云フ其方針ヲ以テ、唯此問題ニ注意致シテ居ル次第デアリマス、此問題ガ解決致シマスレバ、朝鮮人ノ間ニモ非常ニ便利ニナリ、或ハ日本人ノ間ニモ便利ニナル、無論左様ニナルデアラウト考ヘマス、併ナガラ此問題ノ成行ハ只今申シタ通りデアリマス

○秋田委員 モウ一度外務大臣ニ伺ヒマスガ、餘リニ外務省ハ官僚式ノ交渉デ、實際ニ力ヲ入レテ國民ヲ彼ノ地ニ移民セシメルト云フ、眞劍ニ力ヲ御入レニナラヌデ、所謂外交的ノ話ダケデ、實際支那ニ向ッテ其條約ニ基イテ強イ

御交渉ニナツテ居ラヌノデハナイカト
思ヒマスガ、此位ノ小サイ問題ハト云
フ御考デ放任シテハオキデニナラヌノ
デアリマセウ、ガ併シ餘リニ重キヲ御
置キニナラヌノデアアルノデハナイカト
思ヒマス、條約ガ出來テ居ル、其條約ヲ
實行スルト云フコトハ、外務大臣ノ手
腕ニ依テ出來ヌコトハナイト思フノデ
アリマスガ、唯總領事カ何カニ御任セ
ニナツテ居ッテハ其總領事モ所謂向フニ
居レバ餘リイヤナ事ヲ言フヨリ、先ヅ
所謂外交ノ交渉位ニ止マツテ居ルノ
デハナイカト思ヒマスガ、私ハ此朝鮮
人保護ノ上カラ行キマシテモ、亦日本
ノ只今投資ヲシテ居ル彼ノ東亞興業會
社ノ如キモノヲ保護セラルル上カラ云ッ
テモ、食糧ノ問題カラ云ツテモ、是ハ外
務省トシテ少シ力ヲ入レテ御交渉下サッ
タラ、餘リムヅカシイ問題デハナイト
思ヒマスガ、外務大臣ノ所見ハ如何デ
アリマスカ

第デアリマス、吾々ガ之ニ骨ヲ折レバ
必ズ斯ナ問題ハ解決ガ出來ルデアラ
ウト云フ御觀測ハ、吾々ハ今日迄力ヲ
盡シテ居ルニ拘ラズ、或ハ歷代ノ政府
ガ此問題ニ力ヲ盡シテ居ルニ拘ラズ、
今日迄出來上ツテ居ラヌト云フコトハ、
如何ニ此問題ノ實質ノ解決ニ於テ困難
デアルト云フコトハ御承知下サルコト
デアラウト思ヒマス、決シテ此問題ハ
容易ナモノデハナイ、左様ナ單簡ナモ
ノデハナイノデアリマス、支那ノ側カ
ラ考ヘテ見マスレバ、隨分是ハ重大ナ
問題デアルト思ヒマス、吾々ハ無暗ニ
支那ノ立場ニ同情ヲ表シテ、餘リ熱心
ナ手段ヲ執ツテ居ラヌト云フコトデハ
アリマセヌケレドモ、出來ルダケノコ
トヲ私ハヤリ、是ダケノコトシカ他ニ
方法ハナカラウト思ヒマス

○高木委員 私ハ本委員會ニ初メテ臨
ムノデアリマスガ、此新規計畫ノ……
○牧山委員長 一寸高木君、御相談デ
スガ、外務大臣ニデハアリマセヌカ
○高木委員 朝鮮總督府ノ方デス
○牧山委員長 サウスルトモウ外務大
臣ニ質問ハアリマセヌカ——ソレデハ
宜シウゴザイマス、高木君

○高木委員 新規計畫ノ事ニ關シテハ
洵ニ結構ナ事ダトハ思ヒマスケレドモ、
私ハ其宿トノ關係上朝鮮ノ留學生ト接
觸スルコトガ多イノデアリマスルガ、
彼等留學生ニハ晩學者ガ非常ニ多イ、
ソレニ私ハ第一ニ不審ヲ懷イテ尋ネタ、

所ガ彼等ハ斯ウ言ツテ居ル、吾々ハ腕ノ
力ヲ以テ朝鮮獨立ヲ圖ルコトガ出來ナ
イカラ、智慧ノ力ヲ以テ獨立ヲ圖ラナ
ケレバナラヌ、ダカラ吾々ハ今日迄ノヤ
ウナ工合ノ朝鮮人デハイカヌカラ、妻
子ヲ捨テ晩學デ來テ居ルト、彼等ハ公
然トシテ私共ニ言フノデアリマス、而
シテサウ云フ風ノ狀態デアリマスルカ
ラ、私ハ彼等ニ答ヘテ言フノニ、既ニ朝
鮮ノ李王初メ日韓ノ御婚儀モアリ、サ
ウシテ朝鮮ノ山河、道路、港灣有ユル施
設ニ付テハ、本國政府ハ尠カラヌ費用
ヲ以テ朝鮮ノ開發ヲシテ居ル、然ルニ
モ拘ラズ、尙ホ君等ガ之ニ悅服ヲシナ
イト云フコトハ、是ハ何處ニ在ルカト
云フコトヲ尋ネマシテモ、彼等ガ笑ツテ
答ヘナイノデアリマスルガ、今回ノ此
新規計畫ハ洵ニ結構デアルケレドモ、
現時ノ朝鮮人ノ我國ニ對スル反感ノア
ル上ニ於テハ、今回ノ此巨額ノ費用ヲ
以テスル新規計畫ハ、寧ロ此莫大ノ金
ヲ以テ朝鮮ニ鐵道ヲ敷設スルヨリハ、
我ガ日本内地ニ於テマダ不便ナ土地モ
澤山アルノデアアルカラ、私共ノヤウナ
朝鮮ノ一切ノ事情ヲ知ラヌ者ハ、朝鮮
ヨリハ寧ロ内地ニ是ダケノ金ヲ使ツテ、
サウシテ内地ヲ開發シタ方ガ利益デハ
ナイカト云フヤウナ疑問ヲ懷イテ居ル
ノデアリマス、總督府トシテ是程ノ費
用ヲ朝鮮ノ爲ニ支出シ、種々ナル計畫
ヲサレテモ、朝鮮人ガソレヲ喜バナ
イト云フノハ、之ニハ何等カノ總督府ノ

施政方針ガ惡イト言ウテハ語弊ガアル
カモ知レマセヌガ、何等カソコニ缺陷
ガアルカト思ハレルノデアリマスガ、
朝鮮ニ對スル所ノ知識ノ無イ私ノ爲ニ
簡單デ宜シイカラ、此由テ來ル所ヲ教
ヘテ戴キタイト存ズルノデアリマス

○湯淺政府委員 今回計畫ヲ致シマシ
タ朝鮮鐵道ノ新規計畫ハ、朝鮮ノ現狀
ニ見マス、今日マデ出來テ居リマス
鐵道ノ延長ト云フモノハ極メテ短イノ
デアリマス、之ヲ内地ト比較シ、又北海
道、臺灣等ニ較ベマシテモ、非常ニ少イ
ノデアリマス、面積ニ比較シテモ、人口
ノ割合カラ申シマシテモ、非常ニ少イ
ノデアリマス、今回ノ此新規ノ計畫ヲ
十二箇年ノ間ニ完成ヲ致シマシテモ、
其結果ハ尙ホ今日ノ北海道或ハ内地或
ハ臺灣等ノ現在ノ延長ニモ及バナイノデ
アリマス、是ハ比較デ申スノデアリマス、左
様ナ狀態デアリマスカラ、朝鮮ノ開發
ト云フコトガ非常ニ遅レテ居ル次第デ
アリマス、朝鮮ニハ尙ホ開發スベキ餘
地ハ少クナイノデアリマスガ、交通機
關ノ非常ニ遅レテ居リマス爲ニ、十分
ナル開發ヲ見ナイ狀態ニアリマスカラ、
此朝鮮ノ開發ノ爲ニ、是ダケノ計畫ヲ
先以テ致スコトニシテ御協賛ヲ仰イデ
居ル次第デアリマス、内地トノ關係ニ
付キマシテハ、是ハ御承知ノ通り全ク
會計ヲ異ニシテ居リマシテ、朝鮮ノ鐵
道ハ朝鮮總督府ノ特別會計ノ中デ仕賄ッ
テ參ル筈デアリマスカラ、之ヲヤルヨ

リモ内地ノ鐵道ノ敷設ヲ更ニ急イダ方
ガ宜シイト云フ御意見ニ對シマシテハ、
内地ハ内地トシテ、ソレト必要ニ應
ジテ各延長敷設ヲ計畫サレマスシ、
朝鮮總督府トシマシテハ、朝鮮ノ遅レ
テ居ル交通機關ノ促進ヲ圖ラナケレバ
ナラヌ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマ
ス、若シ内地ノミガ非常ニ急激ニ發展
シマシテモ、朝鮮ノ方ハ何時マデモ交
通機關ノ延長ヲ見ナイト云フ狀態ニ置
キマスコトハ、朝鮮統治上甚ダ面白クナ
イコト、考ヘテ居リマス、朝鮮鐵道ノ
敷設延長ハ朝鮮ノ爲メ、又内鮮兩方ノ
爲ニ極メテ必要ナ事デアルト考ヘテ居
ル次第デアリマス、而シテ此鐵道ノ計
畫ハ、是ハ財源ヲ公債ニ仰ギマシテ、他
日鐵道カラ生ズル所ノ益金ヲ以テ之ヲ
償還スル積リデ居リマス、左様ナコト
ニ御承知ヲ願ヒマス

○牧山委員長 一寸高木サンニ御相談
致シマスガ、成ベク通告順ニ依テ質問
ヲ許スコトニナツテ居リマス、今ハ外務
大臣ガ出席サレマシタカラ、外務大臣
ニ對スル質問ヲヤッタ譯デス、今度ハ中
山君ノ通告順ニナツテ居リマスガ

○高木委員 ソレナラ宜シウゴザイマ
ス
○中山委員 私ハ總督府ガ買收セラル
ル線路ノ中、朝鮮鐵道會社所屬ノ慶東
線、全北線、圖們鐵道ノ線、是ハ三線ト
モ狹軌デアル、ソレヲ買收シテ、今度廣
軌ニ改築スルト云フデアリマス、廣

軌ニ改築スルニハ、又相當ノ費用ヲ要
スル譯デアリマセウガ、一面ニ於テ總
督府ハ從來私設鐵道ノ敷設ヲ許可スル
ニ當ツテ、廣軌ト狹軌ト區ニ許可シテ
居ラレルノデアリマスガ、是ハ何ヲ標
準ニシテ斯ウ云フ許可ヲセラレタノデ
アリマセウカ、其點ヲ伺ヒタイト思ヒ
マス

○大村政府委員 今度ノ買收私設鐵道
會社ノ慶東、全北、圖們ノ三線ハ、只今
御話ノ通り狹軌デアリマス、從來廣軌
狹軌ヲドウ云フ方針デ許シテ居ッタカ、
或ハ此軌間ノ選擇ヲドウ云フ方法デヤ
テ行ツタカト云フ御質問ニ對シマシテ
ハ、從來朝鮮ノ鐵道ノ軌間トシテ公ニ
認メラレテ居ルノハ三ツアリマス、一ハ
幹線ニ採用シテ居リマス四呎八吋ノ廣
軌デアリ、一ハ三呎六吋ノ内地ト同ジ
ノデアリ、モウ一ツハ二呎六吋ノ狹軌
デアリマス、而シテ現在ニ於テハ内地
ト同ジノ三呎六吋ノ鐵道ハ無クナリ、
廣軌ノ鐵道ト二呎六吋ノ狹軌ダケデア
リマス、此狹軌ト廣軌トガ、ドウ云フ風
ノ方針デ今日マデ敷設サレテ居ッタカ
ト云フ跡ヲ見マス、朝鮮ニ鐵道ノ普
及ヲ圖ル爲メ、私設鐵道ニ對シテ相當
ノ補給ヲシテ、各地方ニ其延長ヲ圖ツ
テデアリマスガ、其當時ノ事情トシテ、
其運輸ノ狀態ガ地方ノ局部ニ止マリ、
一時ニ多額ノ費用ヲ掛ケテ廣軌ノ鐵道
ヲ敷設シナイデモ宜イ、二呎六吋ノ狹
軌ノ鐵道デ當分間ニ合フト云フ所ハ、

成ベク少イ資金デ出來ルヤウ、隨テ補
給金ノ額モ少クテ濟ムト云フヤウナコ
トノ爲ニ狹軌ヲ許可シタノデアリマス、
ソレ等ノ一部ガ今御話ノ全北鐵道ナド
デアリマス、所ガ段々時代ガ推移シテ
參リマシテ、今度ノ計畫ヲ定メルニ付
キマシテハ、是迄ハ地方鐵道トシテ働
イテ居ッタモノガ、今度ノ計畫ニ屬スル
幹線ノ一部トシテ私設鐵道ヲ働カセナ
ケレバナラヌヤウニナツタノデアリマ
ス、故ニ其幹線ヲ建設セントスル計畫
線ノ間ニ介在シテ居リマス私設鐵道ヲ、
茲ニ買收シテ國有ニスル前ニ、計畫上
此二尺五寸ノ「ゲード」ヲ國有線ト同一
ニ改メル、斯ウ云フ必要ガ起ツテ來タノ
デアリマス

○中山委員 總督府ニハ鐵道ニ對スル
一定ノ方針ガナケレバナラヌト私ハ思
フ、今ノ御説明ニ依テ、ソレハ地方ミ
ニ依テサウ云フ關係モアッタノデアラ
ウガ是等ハ一體何處ミ、ノ線ハ將來當
然總督府トシテ買收シナケレバナラヌ、
一旦私設ヲ許シテモ將來買收シナケレ
バナラヌ、斯ウ云フ一定ノ方針ガナケ
レバナラヌト思フ、然ル場合ニ於テ、將
來總督府ノ所有トシナケレバナラヌト
云フモノニ對シテハ、豫メ是ハ廣軌ヲ
以テ認可シナケレバナラヌ、私ハ兎ニ
角鐵道ヲ敷キサヘスレバ宜イノデア
ル、狹軌デアッテモ、何デモ構ハズ許ス
ト云フコトニナルト、鐵道ヲ買收サレ
タ時ニ於テ、今迄掛ツタ費用ハ政府ガ支

辨致シテ、ソレヲ改造スル上ニ於テ相
當ノ金ヲ負擔スル、斯ウ云フコトニナ
ルト、私ハ總督府ノ鐵道政策ニ對シテ
一定ノ方針ガナイノデナイカ、斯様ニ
考ヘル、元來私共考ヘルニ、一體朝鮮ニ
ハ鐵道政策以外ニ政策ヲシイ政策ハナ
イト言ツタ差支ナイト私ハ思フ、朝鮮デ
一番大切ナモノハ鐵道政策デアルト思
フ、ソレニ對シテ今ノヤウナ御考デハ、
私共ハ頗ル遺憾ニ堪ヘナイノデアリマ
スガ要スルニ何等カ一定ノ方針ガアル
カナイカト云フコトヲ政務總監カラ御
伺シタイト思フ

○湯淺政府委員 鐵道ニ對スル總督府
ノ一定ノ方針アリヤ否ヤト云フ御話ニ
對シマシテハ、現實ニ就テ申シマスレバ、
茲ニ今回はダケノ計畫ヲ立テ、御協賛
ヲ願フコトニ致シマシタ、詰リ國有線
ガ非常ニ少イカラシテ、朝鮮ノ財政狀
態ヲ顧ミ、又政府ノ公債政策ニ順應シ
タ範圍内ニ於キマシテ是ダケノ建設ヲ
致ス、是ダケノコトハ朝鮮總督府ノ特
別會計ト致シマシテハ可ナリ大キナ規
模デアルト考ヘルノデアリマス、是ダ
ケノコトヲ立テマシタノモ、是モ總督
府ノ鐵道政策ノ一ツデアルト考ヘマス、
更ニ又私設鐵道ニ付キマシテモ、國有
線ノ間ニ介在シテ、私設鐵道ノ或ハ軌
幅ノ短イモノ、或ハ距離ノサマデ長ク
ナイヤウナモノガアルト云フコトハ、
管理ノ上カラ申シマシテモ、鐵道ノ交
通運輸ノ上カラ申シマシテモ、非常ニ

不便利益デアリマスカラ、之ヲ國有ニ移シテ軌幅ノ狭イモノハ之ヲ擴ゲルト云フコトニ致シマシタノモ、是モ鐵道政策ノ一ツ、斯様ニ申シテ宜シカラウト考ヘマス、只今御尋ニナリマシタ中ニハ、過去ニ於テ朝鮮ノ鐵道ガ或ハ狹軌ノモノガアル或ハ廣軌ノモノガアル、色々ニナツテ居ルガ、ソレハ甚ダ不統一デハナイカ、斯ウ云フ御趣旨ノヤウニ伺ヒマシタガ、是ハ過去長イ間ニ互テ敷設セラレタモノデアリマスカラ、今日トシテハ其跡ヲ辿ッテ、其當時ノ當局ノ考等ヲ知ルト云フヨリ外ハアリマセヌ、併シ大體カラ申シマスレバ、内地ニ致シマシテモ、其他ノ地方ニ致シマシテモ、矢張總テノ鐵道ノ軌幅ガ統一サレテ居ルト云フ譯ニハ參リマセヌ、事實ガ其通りデアリマス、色々ニナツテ居ルヤウデアリマス、朝鮮ト致シマシテモ、廣軌ニシマスレバ非常ニ建設費ガ掛ル、狹軌ナラバ暫クノ間ハソレデ間ニ合フ、サウシテ其地方ノ交通運輸ノ上ニ非常ナル助ケニナルト云フヤウナモノニ付キマシテハ、今後ト雖モ常ニ廣軌デナケレバ許サナイト云フヤウナコトニハ致サナイ積リデ居リマス、或ハサマデ重要ナラザル支線、又物資ノ數量モサマデ大キクナイヤウナモノハ、幹線ニ對シテハ營養ヲ成スト云フヤウナモノニ付テハ、狹軌デアルノガ頃合デアルト云フヤウナ場合ニハ、今後ト雖モ矢張之ヲ許ス外ハナイ、斯様

ニ考ヘテ居リマス、鐵道ノ事ニ付キマシテ理想ヲ申シマスレバソレハ色々アルトシマシタ所デ、特別會計ノ財政狀態ト公債ノ政策、又他日はハ必ズ償還モシナケレバナラヌ譯デアリマスカラ、左様ナ點ヲ考ヘテ、其範圍内デ鐵道計畫ヲ立テル外ハナイト考ヘテ居リマス、而シテ一面此計畫デ進ミマシテモ、國有線ノ外私設鐵道モ相當ニ發達ヲシテ參ルト云フ見込デ居ル次第デアリマス、要スルニ朝鮮ノ鐵道ガ國有ノミナラズ、私設鐵道モ同時ニ竝ンデ進ムト云フコトヲ期待シテ、今回ノ計畫ヲ立テ、居ル次第デアリマス、是ガ鐵道政策ノ大體デアルト考ヘテ居リマスガ、尙ホ是デハ宜シクナイト云フ、何カ變々御意見ガアリマスレバ、是ハ私共ノ或ハ考ヘ及バナイ所デアルカモ知レマセヌ、要スルニ鐵道政策ハ適當ニ立テ、居ルト申上ゲル外ハナイト思ヒマス

○中山委員 モウ一ツ御尋シタイ、朝鮮總督府ハ一昨年滿鐵ニ其管理ヲ託シテ居ッタノヲ還元シタ、其還元後ノ成績ハ一體ドウ云フ狀態ニナツテ居リマセウカ、其收支等ノ狀態ニ付テ具體的ニ當局者ノ御説明ヲ請ヒタイト思フ

○湯淺政府委員 滿鐵ノ管理ヲ解キマシテ、朝鮮ノ國有鐵道ヲ朝鮮總督府ガ自ラ管理經營ヲ致スコトニ致シマシタ、其經緯ニ付キマシテハ、前々ノ議會デゴザイマシタカ、議會デ詳細ニ應答ヲセラレテ居ルコトハ御承知ノ通りデゴ

ザイマス、其時ノ理由ト致シマシテ、朝鮮總督府ガ直接管理スル方ガ宜イト云フ幾多ノ理由ヲ舉ゲテ、當時ノ當局者ヨリ御説明致シテ居リマス、其後ノ狀態ニ徴シマスレバ、當時朝鮮總督府ノ當局者ガ豫期致シマシタ通りノ實績ヲ大體ニ於テ舉ゲテ居ルト考ヘテ居リマス、簡單ニ申シマスレバ、朝鮮ノ國有鐵道ノ直接管理經營ハ、當時當局者ノ豫期シタル所ヲ裏切ッテ居ナイ、斯様ニ申上ゲタイト存ジマス、其後ノ益金等ノ計數ニ付キマシテハ、茲ニ材料ヲ持ッテ居リマスカラ、若シ詳シイ事ヲ申上ゲル必要ガアリマスレバ申上ゲマス

○中山委員 私ハ總督府ガ經營スル可否ニ付テ此際言フノデハナイ、斯ウ云フ新計畫ヲ色々御出シニナツテ居リマシタ故ニ、還元後ノ成績ガ果シテドウ云フモノデアルカ、ソレハ之ニ關聯シテ必要デアリマスカラ、具體的ニ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○湯淺政府委員 無論是ダケノ御答デハ御満足ニナラヌカトモ思ヒマスガ、滿鐵ノ納付金ト鐵道ノ益金トノ比較ヲ申上ゲマス、大正十四年度ニ於キマシテハ、滿鐵ノ納付金ヨリモ鐵道局ノ益金ガ二十八萬餘圓ヲ増シテ居リマス、ソレカラ十五年度ニ於キマシテハ四十四萬圓ヲ増シテ居リマス、ソレカラ十六年度ノ豫想ハ八十二萬圓増加スル見込デアリマス、此金額ハ滿鐵ノ納付金ト總督府自ラ經營シタ結果トノ其差額ヲ

申上ゲタノデアリマス、其他直接ノ經營デアリマスカラ、當時ノ政府委員ヨリ議會ニ説明ヲ致シマシタ通りニ、朝鮮ノ地方的ノ產業ノ促進ヲ圖ル爲ニ鐵道ノ働キヲ特別ニスルト云フヤウナ、豫定致シマシタ事ハソレノ實行致シテ居リマス

○中山委員 私ハ總督府ガ朝鮮ノ產業開發ノ上ニ於テ新規ニ計畫サレタ此鐵道ニ付テハ、大體ニ於テ惡イ事デハナイト思ヒマスガ、其產業開發ト云フ事ニ付テ、此場合特ニ承ッテ置キタイノハ、朝鮮ニ於テハ水力ノ豊富デアルト云フコトハ、今更言フマデモアリマセヌ、然ルニ是ガ有利ナルモノハ、殆ド悉ク三菱系ノ手ニ歸シテ居ル——歸セシメツ、アルト云フコトヲ承ッテ居ル、例ヘバ一例ヲ舉ゲレバ、奉天ニ居ル所ノ町野君ガ、曾テ張作霖カラ鴨綠江ノ水利權ヲ得タ時ニ於テ、鴨綠江ハ國境ノ關係上朝鮮總督府ノ諒解ヲ得ナケレバナラヌ、仍テ其關係者ガ朝鮮總督府ニ話スルト云フト、先ヅ三菱ト相談ヲシテ呉レナドト云フコトヲ總督府ノ當局者ガ言ウタ、是ハ事實デアリマス、サウ云フ事ガアルノデアリマスガ、一體一富豪ニ是等ノ利權ヲ與ヘルト云フコトハ、其總督府ノ方針ガ那邊ニ在ルカト云フコトヲ私ハ疑フ、同時ニ又内地ニ於テハ鐵道ハ漸次電化セシムルト云フコトニナツテ居リマス、朝鮮ハ是カラ色々施設ヲシナケレバナラヌノニ、鐵道モ或ハ將

來電化セシムルト云フ方針デ假ニアリトスレバ、ソレ等ノ點モ水力ヲ許可スル上ニ於テ相當考慮ヲ要スルノデハナシ得ル計畫ヲ立テ、出願シタモノデアリマスカラ、國ガヤリマセヌ以上ハ民間ノ人ニ許スト云フノガ、内地ニ於テモ同様デアリマス、唯權利ノミヲ取ツテ仕事ヲシナイト云フヤウナ者ガアリマスレバ、是ハ開發ヲ非常ニ妨ゲル譯デアリマスカラ、仕事ヲ確實ニ實行スルト云フ起業家ガ適當ナ計畫ヲ立テ、出願致シマスレバ、是ハ朝鮮ニ限リマセヌ、内地ニ於テモ何處ニ於テモ同じ事デアリマス、其正當ト認ムル者ニ許可スル、是ガ今日ノ總テノ共通ノ制度、方針デアルト考ヘテ居リマス、朝鮮ニ限リタ次第デハゴザイマセヌ、ソレカラ鐵道電化ト云フ事ニ付キマシテハ、遠キ將來ノ事ハ吾々ガ豫想スルト云フコトガ既ニ無理デアルト考ヘマス、只今ノ鐵道電化ト云フコトヲ考ヘテ居リマセヌ、是ダケ御答致シマス

○湯淺政府委員 只今ノ御尋ノ前段ニハ、何カ朝鮮總督府デ公正ナラザル處分デモシテ居ルカノヤウナ風ニ伺ハレル御言葉ガアッタヤウデアリマスガ、若シ果シテサウデアルト致シマスレバ、是ハ私ノ非常ニ遺憾トスル所デアリマス、左様ナ事實ハ絕對ニアリマセヌ、ソレカラ御尋ノ中ニ、町野君ガ鴨綠江ノ水利權ヲ張作霖氏カラ許可ヲ得テ居タ、ソレヲ遂行スル上ニ付テ三菱ト相談ヲセヨト云フヤウナ事ヲ朝鮮ノ當局者ガ德意シタト云フコトデアリマスガ左様ナ事ハ私未ダ會テ耳ニシタコトハアリマセヌ、朝鮮ノ當局者ト言ヒ條、誰ガ左様ナ事ヲ申シタノカ、ソレハ知リマセヌガ、其事實ハ私トシテハ存ジマセヌ、併シ私ノ寡聞ナルガ爲デアアルカモ知レマセヌ、併シ縱シソレガアッタトシマシテ——是ハ假定デス、町野氏自ラガ經營ヲサレルカ、或ハ他ノ資本ノ調達ト云フ事ノ話デモアッタノデハアリマスマイカ、ソレニ致シマシテモ私ハ全ク初耳デス、少シモ承知致シマセヌ、ソレカラ現在北朝鮮ノ方面ニ於テ水力ヲ許シテ居リマスノガニツアリマス

ソレハ一ツハ日本窒素肥料會社、ソレカラ今一ツハ三菱系ノモノデアリマス併ナガラ是ハ確實ニ起業ヲ爲ス人ガ爲シ得ル計畫ヲ立テ、出願シタモノデアリマスカラ、國ガヤリマセヌ以上ハ民間ノ人ニ許スト云フノガ、内地ニ於テモ同様デアリマス、唯權利ノミヲ取ツテ仕事ヲシナイト云フヤウナ者ガアリマスレバ、是ハ開發ヲ非常ニ妨ゲル譯デアリマスカラ、仕事ヲ確實ニ實行スルト云フ起業家ガ適當ナ計畫ヲ立テ、出願致シマスレバ、是ハ朝鮮ニ限リマセヌ、内地ニ於テモ何處ニ於テモ同じ事デアリマス、其正當ト認ムル者ニ許可スル、是ガ今日ノ總テノ共通ノ制度、方針デアルト考ヘテ居リマス、朝鮮ニ限リタ次第デハゴザイマセヌ、ソレカラ鐵道電化ト云フ事ニ付キマシテハ、遠キ將來ノ事ハ吾々ガ豫想スルト云フコトガ既ニ無理デアルト考ヘマス、只今ノ鐵道電化ト云フコトヲ考ヘテ居リマセヌ、是ダケ御答致シマス

○中山委員 現在鐵道電化ト云フコトハ何等考ヘテ居ラヌト云フ、其點ニ付テハ承知致シマシタガ、前段ニ於テ政務總監ハ自分ハ知ラナイ、サウ云フコトハナイダラウト思フ、是モ御尤デアアル是ハ湯淺氏ガ政務總監ニ就任セラレ前ノ話デアアルノデアリマスカラ、隨テ總監ガ知ラナイ——必シモ全然否定サレタヤウニ思ハレマセヌカラ、敢テ此事ハ此場合問ヒマセヌガ、是ハ町野君カラ委託ヲ受ケタ私ノ知人ガ、現ニ總督府ノ其當時ノ當局者カラ左様ニ言ハレタ事實ガアルノデアリマス云フコトダケヲ申上ゲテ、其質問ハ是デ打ちリマスガ、次イデ私ハ矢張水力ト同様ニ、朝鮮ニ取ツテハ重大問題ノ一ツデアルト私共ハ考ヘテ居ル所ノ、彼ノ保留炭田ノ問題ニ付テ此場合承ツテ見タイト思フノデアリマス、此朝鮮ニ於ケル保留炭田ハ、其埋藏量ガ或ハ五億噸ト云ヒ、八億噸ト云ツテ、相當ノモノガアル、是ハ鴨綠江ノ大森林ト共ニ、朝鮮ノ二大資源トマデ稱セラレテ居リマス爲ニ、所謂舊韓國時代カラ是ガ採掘ヲ保留シテ、併合後ニ於キマシテモ、帝國政府ハ是ガ保留ヲ繼續シテ來タノデアリマス、然ルニ昨年突然三菱系ニ屬スル所ノ連中ガ——連中ト云フヨリモ、寧ロ三菱ガ中心トナツテ炭礦會社ヲ設立シテ、ソレニ此保留炭田ヲ總督府ハ解放シタ、其點ニ付テ、私ハドウ云フ理由ニ依テ解放サレタカト云フコトヲ承リタイノデアリマス、其總督府ノ言ハレル所ニ依ルト、所謂產業開發ノ爲ニ必要デアルカラシテ之ヲ解放シタノデアアル、斯ウ云フ風ニ單純ニ言ハレルノデアリマスケレドモ、ドウモ私共ハ其點ガ甚ダ腑ニ落チナイト思フモノガアルノデアリマス、保留炭田ニ付テハ、兼ニ浦製鐵所ガ設立サレル時ニ當ツテ、此燃料トシテ保留炭田中ノ六礦區ノ採掘ヲ其當時許可シタ、ソレカラ齋藤總督ノ時代ノ

大正十一年四月、又何等——私共ハ理由ガナイト思フノデアリマスガ、理由爲ニ保留炭田中ノ有望ナル五礦區ヲ許可シ、合計十一礦區ヲ三菱ノ占有ニ歸セシメタト云フ事實ガアルノデアリマス、其外三菱ハ現在ノ保留區域外ニ於テ二十五礦區ノ權利ヲ獲得シテ居ルノデアアル、更ニ手ヲ擴ゲテ、朝鮮全體ニ互テ主要ナル炭田ノ壟斷ヲ行ハントシテ居ルコトハ、是ハ顯著ナル事實デアアル、然ルニモ拘ラズ、昨年三菱ガ中心トナツタ所ノ此炭礦會社ニ、總督府ガ中心トナツテ其設立ノ促進ヲ圖リ、又其保留炭田ヲ解放サレタ其理由ニ付テ、詳細ナル御説明ヲ願ヒタイト思フノデアリマス

○湯淺政府委員 御質問ハ朝鮮ノ保留炭田解放ノコトニ付テノ御尋デアリマスルガ、御尋ノ御言葉ノ中ニハ、大分事實ト違ッタ點ガアリマスルノデ、甚ダ失禮デアリマスルケレドモ、其點モ併セテ御説明ヲ致シタイト考ヘマス、私ハ今手許ニ材料ヲ持ツテ居リマセヌカラ、細カイ計數等ニナリマスレバ、若シ御必要ト云フコトデアリマスレバ、追ッテ補充ヲ致シマスガ、大體朝鮮ニハ御尋ノ通り石炭ノ埋藏量ハ各方面ニ互テ非常ニ澤山アルノデアリマス、其埋藏ノ狀態ヲ申シマスルト、咸北ノ方ニハ有煙炭ガアリマスルシ、平壤方面ニ無煙炭ガアリマス、更ニ江原道ノ三陟方

面ニモ相當多量ノ石炭ガ埋藏サレテ居ル、斯ウ云フコトニナツテ居リマス、其他鐵道ノ新計畫ニ附ケテ差上ゲテアリマス地圖ヲ御覽ニナリマスルト分リマス通り、他ノ方面ニモ澤山石炭ガ存在シテ居ルノデアリマス、此總體ノ量ガドノ位アリマスカ、是ハ見ヤウニ依リ、又地底ノ深サニ依テ色々違ヒマスルガ、色々ニ埋藏量ガ傳ヘラレテ居リマス、其何レニ致シマシテモ、多量ニ在ルト云フコトハ是ハ申スマデモナイノデアリマス、所デ是ガ現在經營サレテ居ル狀態ハドウカト申シマスルト、一番北ノ方ノ咸北炭ト申シマス咸北ノ有煙炭ハ、非常ニ多數ノ鑛主ニ依テ經營サレテ居リマスルガ、事實ハ是ハ甚ダ不十分デ、炭ガ十分澤山ニ出ナイノデアアル、是ハ其資本ガ十分デナイ爲ニ、又或ハ運輸交通ノ關係等カラ致シマシテ、良ク經營サレテ居ラヌノデアリマス、殊ニ洵ニ殘念ナコト、考ヘマスルノハ、掘方ノ惡イ爲ニ地下ニ於テ燃エテ居ル所ガ澤山アルノデアリマス、永遠ニ地下ノ富ガ失ハレテ居ル、斯ウ云フ狀態ニナツテ居ルノデアリマス、ソレデアリマスカラ出來得マスルナラバ此方面ノ合同ヲシテ、極メテ有利ニ經營セシメタイト云フ考モアリマスルケレドモ、此方面ニハ中々困難ナ事情ガアルノデアリマス、鑛山ヲ持ッテ居ル者ガ非常ナ負債ガアル、ソレ等ヲ片付ケナケレバナラヌト云フヤウナ譯デアリマシテ、

中々容易ニ合同計畫ガ立チマセヌ、是ト殆ド反對ニ平壤附近ノ無煙炭デアリマスガ、是モ一寸考ヘマスルト、無煙炭デアリマスカラ、非常ニ結構ナモノト思ハレマスガ、石炭ノ炭脈ガ切レミ、ニナツテ居ル、切レミニナツテ居ルト申シマスルヨリモ、「ボケット」狀態ニナツテ居ルノデアリマス、丁度薩摩芋ガ地下ニ方々ニアリマスヤウニ、千切れ千切れニ「ボケット」ニナツテ、其處ニ粉末狀態ニナツテ居ル無煙炭ガ在ル、灰ノヤウナ小サイ炭デアリマス、ソレデ之ヲ掘出シテ相當ノ加工ヲシテ、サウシテ適當ナ地點マデ搬出シマスレバ結構ナモノニナリマスガ、要スルニ石炭ハ採掘費ガ非常ニ掛ル、又運搬ガ非常ニ費用ヲ要スルト云フコトニナリマスレバ、結局非常ニ結構ナモノト云フコトガ出來ナイ、土地ノ底ニアルモノデアリマスカラ、適當ナ經營ガ出來ナケレバ、折角ノ寶ガ實ニナラヌ、申スマデモアリマセヌガ、石炭ノ價值ハ採掘ノ容易ナル場合、或ハ運搬費ノ餘リ掛ラナイ場合ニ於テ、其價值ハ高イ譯デアリマスケレドモ、只今申上ゲマシタヤウニ炭脈ガ續イテ居ラヌ、何レノ時代ニカ地盤ノ動搖ガアツタモノト見エマシテ、往々ニシテ一方カラ掘リマスルト云フト、間モナク地表ニ出テ居ルト云フモノガアリ、又或モノハ丁度芋ノヤウナ工合ニナツテ居リマシテ、炭脈ガ切レタカト思フヤウナコトニナツテ居リマス、是ガ經營ハ中々尋常ナ

事デハ出來ナイノデアリマス、左様ナ譯デアリマスルカラ、此方面ノ事業モ餘リ十分ニ發展ハ致シテ居ラヌノデアリマス、只今御言葉ノ中ニハ三菱系云々ト云フコトヲ仰セニナリマシタガ、此炭鑛ヲ持ッテ居リマスル者ハ可ナリ澤山ナ者ニ分レテ居ルノデアリマスガ、御尋ノヤウナ三菱關係ノ者ガ可ナリ多クヲ持ッテ居リマス、今度ノ合同ヲ致シマシタ中ノ四分ノ一位ニナツテ居リマセウガ、之ニ就テ今御尋ノ中ニアリマシタ兼二浦ノ製鐵所ガ石炭ノ鑛區ヲ出願シテ、之ニ對シテ六鑛區ヲ許サレテ居ル、其六鑛區アルニモ拘ラズ、後ニ更ニ五鑛區ヲ許ス、是ガ既ニ不當デアル斯ウ云フ御言葉デアリマシタガ、是ハ事實ハ斯様ナ次第デアリマス、私ハ其道ノ専門家デアリマセヌカラ、能承知致シマセヌケレドモ、製鐵事業ガ非常ニ多量ノ石炭ヲ要スル、又適當ナ炭質ノ石炭ヲ要スルト云フコトハ申スマデモナイ、鐵ノ原料ヨリモ寧ロ石炭ニ重キヲ置イテ製鐵事業ト云フモノハ考ヘナクテハナラヌト云フコトヲ承ッテ居リマス、左様ナ次第デアリマスカラ兼二浦ノ製鐵事業ノ其源ニ遡ッテ見マス、鐵ノ原料ガ朝鮮ニ於テ相當得ラレルト云フコトヲ一ツノ條件トシテ考ヘラレル、更ニ附近ニ適當ナ石炭ガアル、斯ウ云フコトノ考カラ兼二浦ノ製鐵所ト云フモノハ計畫サレタト云フコトデアリマス、然ルニ此製鐵所ガ非常ニ豫期ニ違ッ

テ違算ガアツタ、其違算ノ一ツハ、製鐵ノ原料ガ十分ニ無イト云フコトカラ致シマシテ、或ハ之ヲ外ニ仰グ、或ハ又農商務省ノ持ッテ居リマス鐵鑛ヨリ原料ヲ得ルト云フコトニ、色々困ツタ末ニ、サウ云フコトニナツタト云フコトデアリマス、ソレト同時ニ石炭ノ方ハドウカト言ヒマス、是亦朝鮮ノ方デ三菱ガ持ッテ居リマス石炭ハ豫想ヨリハ非常ニ惡イ、只今御話ノ六鑛區ト云フモノニ付キマシテ、是ガ恐ラク當初ノ豫想ハ千萬噸以上ノ埋藏量ガアルト云フ積リデ掛ッタノデアラウト思ヒマスガ、事實ハ非常ニ埋藏量ガ少イノデアリマス、炭質モ非常ニ惡ク、極メテ貧弱ナル炭鑛デアツテ、六鑛區ノ中ノ幾ツデゴザイマシタカ、二ツ位ハ少シモ炭ガ出ナイ、サウシテ出マス炭モ非常ニ質ガ惡クテ量ガ少イ、斯ウ云フヤウナコトデアリマシテ、其量ガドノ位ガ正確デアルカ、是ハ私ニハ分リマセヌガ、總督府ノ方デ見テ居リマス所ト、所有者ノ申ス所トハ相違ガアリマスケレドモ、三菱ノ方デモ見當ハ數十萬噸シカナイ、斯ウ云フコトニナツテ居リマス、四十萬噸デゴザイマシタカ、大體ソナモノデアリマス、ソレデ是ガ足リマセヌ、非常ニ質ガ惡クテ尙ホ足リナイト云フコトカラ追加サレタノガ、今御尋ノ五鑛區デアリマス、是モ只今私ハ數ヲ正確ニ記憶ヲシテ居リマセヌガ、是ダケデヤッテ行クノニハ非常ニ足リナイ、ソレ

ニ無煙炭デアリマスカラ、「コークス」ニ拵ヘルニ付テモ「ピッチ」ガ要ルト、云フコト是亦餘程苦シ居ル事デアリマス、是等ノ鑛區ヲ兼ニ浦ノ製鐵所ニ許サレタ元トハ、朝鮮ニ大キナ資本ヲ投ジテ、製鐵事業ヲ彼處ニ經營スルト云フコトガ、國家ノ上カラ考ヘテ、又朝鮮ノ爲ニ考ヘテ極メテ適切ナ事デアル、斯ウ云フ事カラ其計畫ヲ朝鮮總督府ガ助ケテ參ッタ、斯ウ云フ次第デアリマシテ、所要ノ石炭ノ供給ガ出來ルヤウニト云フコトデ、御尋ノ十一區ト云フモノガ既ニアツテ、ソレカラ其他ニ更ニ澤山ノ炭鑛ヲ持ッテ居ルト云フ譯デアリマス、是ハ場所ハ餘程離レタ遠ッタ場所ニナツテ居リマスガ、先願ニ依ッテ取得シ得ル地域ニナツテ居ルノデアリマス、鑛主、鑛區デハナイノデアリマス、其先願ニ依テ取得シテ居リマス鑛區ガ何レガアル、其他ニ此方面ニ澤山ナ鑛主ガアリマシテ、ソレト分立ハ致シテ居リマスケレドモ、適當ニ炭ヲ減ラサナイ斯ウ云フ狀態デアツタ譯デアリマス、ソコデ朝鮮ト致シマシテハ、燃料トシテ是ガ近時次第ニ利用ラセラル、傾向ヲ持ッテ參リマシタノデ、之ヲ適當ニ開發スルト云フ事ガ極メテ必要デアル、是ハ朝鮮ノ開發ノ上カラ見マシテモ、朝鮮ノ人ニ業ヲ授ケルト云フ上カラ見マシテモ、亦安イ燃料ヲ供給スルト云フ上カラ見マシテモ、何レノ方面カラ見

マシテモ、是ガ相當ニ開發セラレルト云フコトガ必要デアル、斯様ニ考ヘマシタ爲ニ、其附近ノ總テノ鑛主ニ纏メテ一ツノ會社組織ヲサセテ、サウシテヤッテ行ッタ宜カラウト云フコトニ致シマシテ、之ニ對シテ總督府ノ方面デ其振出シテ居ル分ダケヲ許可スル、斯ウ云フ條件デ此方カラ德意シタノデアリマス、當業者カラ進ンデノ希望デハナイノデアリマス、總督府カラ進ンデ德意致シマシテ、話ガ纏ッテ一ツノ會社ガ出來タノデアリマス、斯ウ云フコトニナツタノデアリマス、隨テ御尋ノヤウニ或ル一ツノ財閥ガドウスウト云フ問題デハナイノデアリマス、何故斯様ニ致シタノガ宜イカト云ヒマス、炭鑛ノ稼業ニ付キマシテハ、無論大キナ動力モ要ル譯デアリマス、ソレカラ運送ノ機關モ要ル譯デアリマス、ソレカラ鑛區ト鑛區トノ境モソレトノ間隔ヲ置カナクテモ宜シイト云フコトニナリマス、坑夫ノ待遇等ニ付テモ、極ク順序ノ立ッタ相當ナ保護計畫ヲ立テナケレバナラヌ、ソレニハ資本ノ力ヲ合同セシメテヤラセルノガ一番宜シイ、斯ウ云フ考カラ致シマシテ御尋ノヤウナコトニ取運ンダ次第デアリマス、平壤方面ノ無煙炭ノ地區ダケガ左様ナコトニ纏ッタ譯デアリマス、是ハ私共朝鮮ノ開發ノ爲メ、又朝鮮ノ人ノ爲ニモ非常ニ適當ナル計畫ダト信ジテ居リマス

○中山委員 只今ノ御説明中、兼ニ浦經營ノ上ニ必要デアルト認メタカラ六鑛區許可シタノデアアル、而シテ其後三菱ヨリノ申出ニ依ルト其六鑛區ハ良イ部分ハ二鑛區ダケシカナイ、アトハ惡イ、故ニ更ニ許可シテ吳レト云フヤウナ三菱ノ申出ニ依テ許可シタ、而シテ又總督府ノ調査スル所ト三菱ノ申出トハ、其埋藏量ニ於テドウモ相違シテ居ル所ガアルト思フガ許可シタ、三菱ノ申出ハ四十萬噸シカナイト云フコトデアリマスガ、一體六鑛區アツテ僅ニ四十萬噸ト云フヤウナ少量ノ埋藏量ナドト云フコトハ、餘リニ子供囁シ見タイナ御説明デハナイイカト考ヘル、只今御説明中ニモ、總督府ノ見ル所デハモット量ガアルヤウニ思フケレドモ、三菱ノ方デハサウ言フノデ御許可ニナツタト云フコトニナルト、矢張三菱ノ言フ通りニシテ御許可ニナツタト云フ風ニ解スルヨリ仕方ガナイト思ヒマスガ、左様ニ解シテ宜シウゴザイマセウカ、更ニ私ハ現總監ニ對シテ、三菱トノ間ニ斯ウ云フ問題ニ付テ怪シイ關係ガアルトカナイトカ云フコトヲ言フノデハナイ、又現總監ハ極メテ斯様ナ問題ニ對シテハ公明ナル御處置ヲ執ラレルト云フコトハ、私モ能ク聞イテ居ル次第デアリマスカラ、決シテ公明ヲ缺イテ居ルトハ思ハナイノデアリマスガ、只今ノ御説明ニ依ルト、洵ニ總テガ公明ナ御處置ノヤウニ承ルノデアリマスガ、サウ云フコトデアリマスナラバ、昨年ノ夏

本員ガ保留炭田ノ問題ニ付テ聊カ疑義ヲ懷イタ時ニ於テ、總督府ニ向ッテ是ガ説明方ノ電報ヲ吾ミノ所屬ノ黨ヨリ出シマシタ所ガ、其時ニ朝鮮總督府ヨリ池田殖産局長ヲシテ詳細説明セシメルト云フ御返電ニ接シタ、然ルニ其後池田殖産局長ハ一二ノ人ヲ訪問シテ御話ニナツタノミデ、黨ニハ何等御説明ガナイ、仍テ私ガ齋藤總督ニ御面談ヲシテ其理由ヲ質シタ所ガ、總督ハ御尤ダ、私ハモウ局長ガ貴方ノ黨ニ行ッテ、詳細ニ是等ニ對シテ御疑念ノ點其他ヲ既ニ釋明シタモノト考ヘテ居ッタ、然ルニマダ其事ガナイトスルト甚ダ遺憾デアアル、ソレカラ其時ニ政務總監ハ、ドウモ此問題ニ對シテ本黨ニ行ッテ説明スルコトハ困ル、斯ウ云フ話デアアル、政務總監ガ新聞記者諸君ニ發表シタ所ノ意見ニ依ルト洵ニ公明ナモノデアアル、斯ウ云フコトニナルガ、ソレ程公明ナモノガ、何ガ故ニ政黨本部ヘ行ッテ其説明ガ出來ナイモノデアアルカ、斯様ニ私ガ聞キマス、ドウモサウ云フコトヲ政務總監ガ言ッタノガ分ラヌカラ、政務總監ト相談シテ御返事スル、併シ會社創立前ニ説明スルト、或ハ一寸困ルコトガ起ルノカモ知レヌカラ、會社ノ創立ガ濟ンデカラ説明スルト云フコトニシテ貴フ譯ニハ行カヌダラウカト言フカラ、會社ノ創立ガ濟ンデシマヘバ何ニモナラヌデヤナイカ、吾ハ此保留炭田ヲ一會社ニ依テ經營サセルト云フコトガ

宜クナイト思フノダ、同時ニ彼等ガ會社ヲ創立シテ經營スルト云フガ、會社ノ目論見通りニ果シテ直ニ事業ニ著手シテ、豫定ノ通りノ採掘ヲスルカドウカト云フコトモ疑問ニ思ハレルト云フコトハ、御承知ノ通りニ三菱ニシテモ、三井ニシテモ、矢張内地ニ於テ各所ニ炭田ヲ經營シテ居ルノデアル、サウスルト所謂炭價ノ維持其他ニ付テ——是ハ單リ三井、三菱ニ限ラズ、一體大炭鑛主ト云フモノハ、炭價ガ一旦下ルト、直グニ炭價維持ノ爲ニ採掘量ヲ縮小スル、經營ヲ縮小スルト云フヤウナ事ヲヤル、ソレニ此大キナ炭量ガ向フカラ内地ニ出テ來ルト云フコトニ付テハ、炭價ノ維持ニモ影響スルカラ、隨テ本氣ニ彼等ガ經營スルカドウカ分ラヌ、語ヲ換ヘテ言ヘバ、所謂彼等一部ノ財閥ガ會社經營ニシテ、直ニ朝鮮ノ産業ノ開發ヲヤルナント云フコトヲ言ウテ、其美名ノ下ニ却テ會社ヲシテ之ヲ保留セシメルノデヤナイカ、又總督府ハ其會社ヲシテ所謂三菱系ノ手ニ保留セシメルノデハナイカト云フ疑ヲ起サシメハシナイカト總督ニ話シマス、御尤ダ、兎ニ角總監ニ相談ヲシテ説明スルコトニシヤウト云フ話デアッタ、然ルニソレニ對シテハ總督カラ御返事ガナクテ、總督府ノ秘書官、私ハ名ハ忘レマシタガ、其人ガ本部ニ來テ、何トカアノ問題ハナラヌダラウカ、大キナ問題ニセズニ、一二ノ方々ニダケ御話シテ、サウシテ

餘リ公開ノ席デ説明ハシタクナイノダト言ウテ意見ヲ徵シニ來ラレタ、其時ニ其秘書官ニ會ウタ人——吾々其當時ノ炭田ノ問題ニ關スル委員ニ對シテ交渉ガアリマシタガ、是ハ一二ノ委員ニ於テ聽クベキ性質ノモノデハナイ、總督府ガ實際公開正大ナモノデアルナラバ、公開ノ席上ニ於テ説明スルニ何ノ憚ル所ガアルカ、ソレガ説明出來ナイト云フコトデアアルナラバ、尙更吾々ノ疑問ヲシテ深カラシメル所以デハナイカ、斯様ニ言ウタ所ガ、御尤ダト云フコトデ其秘書官ハ歸ラレタ、ソレカラ私ガ更ニ今度ハ電話デ總督ニ向ッテ、先日總監ト御相談シテ御返事ニナルト云フコトデアッタニ拘ラズ、秘書官ヲシテ斯様ナ小細工ヲ爲サシメルノハ、一體其御意思ハ何所ニアルノダト云フコトヲ御尋シタ所ガ、ドウモ會社創立前ハ困ッタモノダ、會社創立後ニシテ貫ヒタイ、サウシナイト會社創立ノ上ニ障礙ヲ來スカラト云フ御話デアッタ、私共ハ總督府カラドウシテモ御説明ガ出來ヌト云フ以上ハ、私共ノ疑問ハ所謂疑問ニ終ルノデ、疑問其モノガ本當ノモノデアルト云フヤウニ考ヘル、然ルニ總督府ハ會社創立後ニ説明スルト言ハレテモ、會社創立後今日ニ至ルマデ何等説明ガナイ、斯ウ云フ事實ガアル、是等ノ點カラ見ルト、必シモ總督ノ言ハレルヤウニ、左様ニ公明ナモノデナイト云フ風ニ私ガ解スルノモ無理デモナイ

ヤウニ考ヘル、ソレカラ更ニ只今ノ御説明中ニ、保留區域デナイ所ノ多クノ鑛區ヲ三菱ニ許可シテ居ル、ソレハ勿論デアリマセウ、併シ其許可ニ付テモ、所謂燃料研究所カラデアリマスカ、或ハ總督府デアリマスカ、技師ガ炭田其他鑛山方面ニ調査ニ行カレマス時ニハ、必ズ三菱ノ或ル技師ガ同伴シテ、其調査ノ終ルニ先立ッテ出願ヲスルト云フ事實ガアル、私共ガ今言フ色ノ疑問ヲ懷クノハ其處ニ在ルノデアル、總督府ノ見ル所ト、所謂三菱ノ言ハレル所ト違ウケレドモ、ソレガ唯單純ナル御説明デアリマスカラ、ソレデハ私共ハ納得ガ出來マセヌ、其當時ノ狀況ハ其通りデアリマスカラ、會社ノ創立前後ノコトニ付テ今少シ詳細ニ御説明ヲ願ヒタイ、併セテ總督府ハ此保留炭田ヲ會社ニ許可サレタ以上ハ、飽迄會社ノ計畫通り嚴重ニ御監督ヲナサッテ、事業ニ著手ナサシメル御意思デアルカ否カト云フコトヲ承リタウゴザイマス

○湯淺政府委員 長イ御尋デアリマシテ、幾ツカノ廉ニ分ッテ居ルヤウデアリマスカラ、或ハ御答ガ漏レル虞ガアリマスカラ、若シ足リマセヌデシタラ後カラ追加致シマス、第一ハ兼二浦ノ製鐵所ガ最初ニ許可ヲ得タ炭鑛六鑛區ノ事ニ付テ、此六鑛區ノ石炭ノ埋藏量ガ豫想ヨリモ少ナカッタ、之ヲ三菱デハ左様ニ申シテ居ルガ、ソレニ付テハ總督府ノ方ト見ル所ガ違フ、斯ウ云フ點ガ既ニ變デハナイカ、斯ウ云フ御尋デアリマス、此點ハ當初許可ヲスル時分、又許可ヲ受ケル者ハ非常ニ多量ノ埋藏量ガアルモノデアラウト云フ豫想ノ下ニ許可ヲ受ケタガ、事實ハサウデナカッタト云フ點ニ於テハ、總督府モ矢張同ジコトデアアル、非常ニ質ガ惡クテ、而モ其量ガ少ナイ、極メテ貧弱ナ鑛區デアッタ而シテ其量ガ何程デアアルカト云フト、當初ハ千萬噸アルデアラウト思ッタ所ガ、實際ハ非常ニ少ナカッタ、現ニ其鑛區ノ中ニハ全ク無イ鑛區モ含マレテ居ルト云フ有様デ、總量ガ四十萬噸位シカ無イト云フコトヲ申シテ居ル、此方デハモウ少シアルト考ヘテ居ルガ、大體ニ於テ非常ニ見込ガ違ッテ居ルト云フ點ハ一致シタノデアリマス、是ハ技師家ガ調査シテモ、矢張非常ニ見込ガ違ッテ居ル、極メテ貧弱ナ價值ノ無イ鑛區デアルト云フコトハ、今日デハ明瞭ニナッテ居ルノデアリマス、其數量ガ見ル人ニ依テ、一方ハ稍少ナク、一方ハ稍多ク見ルト云フ相違ハアリマセウ、何故サウ云フヤウニ見込ガ違フカト申シマス、最初ニモ申シマシタ通り、「ボケット」狀態ノ石炭デ、是ガ地下ニ在ッテ、而モ薩摩芋ノヤウニ轉々「ボケット」型ヲ爲シテ居ル石炭デアリマス、普通ノ石炭デアリマス、板ノヤウナ形ニナッテ、炭脈ガズツト續イテ居ルノデアリマスガ、平壤附近ノ無煙炭ハ「ボケット」型ニナッテ、炭脈ガ切れ切れニナッテ

居ル、ソレデアリマスカラ是ノ埋藏量
ガ何程アルカト云フコトハ、神デナケ
レバ分ラナイノデアリマス、非常ニ多
カルベシト信ジテ居ッタノガ、段々探掘
ニ著手シテ見ルト、非常ニ少カッタト云
フヤウナ場合ハ往々アルコトデアリマ
ス、ソレカラ總督府ノ見ル所ト炭鑛主
ノ見ル所ガ違フト云フコトモ、是モ亦
常ニ免レヌコトデアリマス、何故カト
申シマス、板ノヤウナ炭層デアリマ
スト、「ボーリング」ニ依テ大體ノ埋藏
量ガ分リマスケレドモ、今ノヤウナ轉
轉千切レテ居ル石炭デアリマスカラ、
其埋藏量ノ見込ガ非常ニ違フノデアリ
マス、現ニ海軍ノ燃料廠ガ彼處ニ持ッテ
居ル石炭ガアリマス、之ニ就キマシテ
モ總督府ノ見ル所ト海軍ノ燃料廠ノ言
フ所トハ大變ニ違フノデアリマス、之
ニ就キマシテハ昨年牧山君カラ海軍大
臣ニ御質問ニナツテ、ソレニ對シテ海軍
大臣ハ現在實ッテ居ル鑛區デ澤山ダト
御答ニナツテ居リマス、然ルニ其後出先
キノ海軍ノ鑛業所長ノ方デハ、意外ニ
少イト云フコトヲ申出テ居ルノデアリ
マス、是ハ近頃デアリマス、詰リ昨年ノ
議會ヨリ此議會ノ間ニ於テ思ッタ程石炭
ガナイト、斯ウ云フコトヲ申出ラレテ
居リマス、此點ニ付キマシテモ總督府
ト海軍ノ方ト埋藏量ニ付テハ見込ガ違
ヒ今以テ爭ッテ居リマス、是ハドウモ神
デナイ限リハ、地下デアリ、サウシテ
「ポケット」狀態ニ散在シテ居ルト云フ

有様デアリマスカラ、サウドウモ其處
モ此處モ雖ヲ入レテ「ポケット」ニ探リ
當タルト云フコトハ出來マセヌカラ、
多少ノ違ヒガアルト云フコトハドウシ
テモ免レヌノデアリマス、其點ハドウ
カ左様ニ御承知ヲ願ヒタイ、今度ノ合
同ノ鑛區ハ全ク別ナ方法デ、鑛業令ノ
先願ニ依テ探ッテ居ルモノデアリマス、
先願者ガ取ル、斯ウ云フコトニナツテ居
リマス、其先願ニ付テ、今中山君ノ御言
葉ノ中ノ、總督府ノ方カラ行ッテ炭田ノ
調査ヲスレバ、三菱ノ技師ガ喰付イテ
居ッテ、其結果ヲ見テ直グ出願スルト云
フヤウナ御話ハ、ドウモ是ハサウ云フ
宣傳ヲシテ居ル者ガアリマスカラ、左
様ナコトガ有ルノカ無イノカト云フコ
トニ付キマシテハ、私ハ注意シ調査シ
テ居リマスガ、此平壤方面ノ石炭ノ調
査ハ、實ヲ申シマス、總督府ヨリモ三
菱ノ方ガ早ク著手シ、早ク正確ナ調
査正確ト申シマシテモ程度ノ問題デアリ
マスガ、稍正確ナ調査ヲ三菱ノ方ガシ
タト云フコトヲ承ッテ居リマス、ソレ故
ニ總督府ノ方デ炭田ヲ調査致シマスニ
付テハ、材料ヲ三菱カラ借りタト云フ
ヤウナ事實ガアリマス、ソレカラ總督
府ガ石炭ノ保存狀態ヲ調査スルニ當リ
マシテ、色々其結果ヲ知ラウト努メル
者ガアルト云フコトハ、是ハ事實デア
リマスケレドモ、ドウモ御話ノナウナ
事實ガアッタト云フコトハ私承知致シ
マセヌガ、斯ウ云フ事實ハ澤山アリマ

ス、炭田ノ調査ヲ致シマス、其附近一
帶ノ人ガ色々注意致シマシテ、土地ノ
朝鮮人ナドガ斯ウ云フ所ヲ調べテ居
タト云フコトヲ聞イテ賣込ニ行クト云
フコトガアリマシテ、サウシテ甲ニ賣
リ、乙ニ賣リシテ、甲乙互ニ先願ヲ競ッ
テ出願スルト云フヤウナ、狀態ガアリ
マスノデ、恰モ調査シテ結果ヲ何人カ
ニ授ケタカノ如キ有様ガアルト云フ話
ヲ聞キマス、併シ是モ私サウ云フ事實
ニ遭遇シタ次第デアリマセヌカラ、
此事ハ何トシテモ自分自身ノ實驗デハ
アリマセヌ、唯サウ云フコトヲ聞イテ
居リマス、ソレカラ其次ノ御尋ハ、オ前
ノ言フ程公明ナ處置デアラナラバ、何
故政友本黨ノ方カラ説明ヲ求メタ時分
ニ來テ説明ヲシナカッタカ、斯様ナ點ニ
付テハ御尋デアリマス、之ニ就キマシ
テハ多少ノ行違ヒモアルカモ知レマセヌ
カラ、經緯ヲ申上ゲタイト思ヒマス、是ハ
此朝鮮ニ於キマシテ此計畫ヲシ之ヲ實
行致シマシタ際ニ、私等モ亦殖産局長
カラモ詳細ナル聲明書ヲ朝鮮デ發表シ
テ居リマス、併シ之ニ對シテ他ノ一二
ノ人ガ之ニ付テ色々ノ批評非難ヲサレ
タト云フコトハ事實デアリマス、併シ
朝鮮全體ニ互リマシテハ之ニ付テハ誰
モ之ヲ非難スル者ガナカッタ、大體非難
ヲ致シマセヌ、第一斯ウ云フ事ニ付テ
何カ暗イ影ガアルト云フコトデアリマ
スレバ、地元附近ノ人ガ非常ニ喧シク
申スノガ先ヅ常態ダト思ヒマスケレド

モ、左様ナ事實ハナイノデアリマス、大
體ニ總督府ノヤッタ事ガ、巧拙ハ別トシ
マシテ認メラレタ、斯様ニ私共ハ信ジ
テ居ッタノデアリマス、所ガ圖ラズ東京
デ昨年政友本黨ノ決議ト云フコトデ、
何カ三菱系ヲ中心トスルデスカ、何ト
カ、三菱ニ對シテ偏私ノ處分ヲ爲シタ
ルガ如キ決議文ヲ以テ、總理大臣及ビ
朝鮮總督ニ決議書ヲ交付セラレマシタ、
斯ウ云フコトデアリマス、非常ニ意外ニ
驚イタノデアリマス、ソレデ之ニ對シ
テ朝鮮總督ヨリ床次政友本黨總裁ニ宛
テ、サウ云フ次第デヤナイノダ、是ハ燃
料政策ノ燃料問題ノ解決ノ爲ニ計
畫ヲシタモノデアッテ決シテ三菱系ニ
私スルト云フヤウナソナ次第第ノモノ
デハナイノダト云フコトノ電報ヲ直ニ
床次氏ニ打電セラレタト云フコトヲ私
ハ承知シテ居ル、ソレカラ其處ニ殖産局
長ガ間モ無ク上京ヲシマシタ、殖産局
ガ床次總裁ヲ訪ネテ、此問題ノ動機、之ニ
必要ナル所以ト云フヤウナコトニ付テ、
床次總裁ヲ訪ネテ説明ヲ致シタ、斯ウ
云フ事實デアリマス、是ハ私ハ皆傳聞
デアリマスカラ、私殖産局長カラ聽イ
タコトヲ申上ゲマス、ソレカラ今度ハ
殖産局長ハ床次總裁ノ希望ニ依テ小橋
君ノ所ニ行ッテ、又説明ヲ致シテ居リマ
ス、是ハ小橋ニ話シテ置イテ吳レト斯
ウ云フコトデアッタト云フコトニ私ハ
承ッテ居リマス、ソレデ事柄ハ濟ンデ居
ルト云フ積リデ私ハ居リマシタ所ガ、

今、日時ハ記憶致シマセヌガ、小橋君カラ私ノ所ニ電話ガ掛ッテ、彼ノ問題ニ付テ説明ヲシテ呉レヌカ、斯ウ云フ話デアリマシタ、其前ニ少シ間ガ脱ケマシタガ、其前ニ殖産局長ガ斯様ナ考ヲ持ッテ居リマシタ、ソレハ此事柄ハ極メテ公明ナ事柄デアアルニ拘ラズ、直ニ決議ヲサレタ、サウシテ如何ニモ刑事被告人ヲ調ベルヤウナ風ノ立場ニ置カレルト云フコトハ甚ダ心外デアアル、斯ウ云フ風ノ意向ヲ私ニ漏シマシタ、私ハソレハ尤モナコトダ、政黨ノ本部デ御決議ニナルナラバ、其前ニ若シ疑ガアルナラバ、一應説明ヲ御求メ下サレバ、能ク事情ヲ御話ヲ致シテ、サウシテ其結果説明ヲ聽イテ見タケレドモ、ドウモ不都合デアアル、斯ウ云フコトデ御決定ニナルナラバ致シ方ハアリマセヌケレドモ、前ニ御決議ニナッタモノデアリマスカラ、一寸困ッタノデス、ソレデマア局長ハサウ云フ風ニ申シテ居リマスカラ、ソレモ尤ナ事ダト云フ位ニ私ハ之ニ共鳴シタノデス、局長ノ申ス所ニモ成程尤ダト言ッテ行掛リガアリマシタカラ、私ハ小橋君ノ要求ニ對シテ、ドウモ先キニ決議ヲサレタノデヤ困ル、是カラ説明ヲシテ見テモ決議ヲ取消サレル譯ニモ行クマイシスルカラ、甚ダ困ル、議會デ説明ヲシヤウ、斯様ニ申シタノデス、只今御話ノ公會ニ於テ説明ノ出來ヌヤウナ問題ナラバ、其裏面ニ何カ怪シイノデハナイカト云フ御言葉ガ

ゴザイマシタガ、私ハ其議會デ説明ヲシヤウト斯ウ云フ事ヲ申シタ、此事ハ小橋君カラ御聽キニナッテ居ルコトト私ハ承知シテ居リマス、ソレカラ小橋君ハマアソナコトハ言ハズニ、何トカ來テ説明シナイカ、ドウモソイツハ困ルト云フヤウナ事デ、一旦別レタノデアリマス、サウ致シマシタ所ガ、今御話ノヤウニ其後デス——其後ト私ハ記憶シテ居リマス、アナタガ總督ニ御交渉ニナッタト云フ事ヲ聞キマシタ、併シ私ハ多忙ヲ極メテ居リマシタシ、總督モ亦サウ云フ事デ一緒ニ上京シテ居リマシテモ滅多ニ會ヒマセヌ、私ハ一旦此殖産局長ノ言フ所ニ共鳴ラシ、オ前ノ言フコトハ尤ダト言ッテ行掛リガアリマシタカラ、小橋君ノ要求ニ對シテソレハ意外デス、斯ウ言ッタモノ、總督ガ説明シロト言ハレレバ私ハサウ言ッテ行掛リヲ棄テ、何カ説明シナケレバナルマイ、斯ウ思ッテ居ッタ所ガ時恰モ只今御話ノ會社創立ト云フコトデアリマシタカ、發起人總會ト云フモノヲ目睫ノ間ニ控エテ居ルノデアリマス、ソレガ濟ンダナラバ行ッテ説明シテモ宜イ、斯ウ云フ事ニ殖産局長モ申シテ居リマシタシ、私モソレガ宜カラウ、何故創立總會云々ト云フコトヲ申シマシタカト言ヒマス、之ニ對シテ如何ニモ何カ不都合ナコトガアルヤウナ宣傳ガ盛ニサレテ居ルコトハ、此事業ノ完全ニ圓滿ニ成立スルノニ支障ガアルト斯

様ニ考ヘマシタカラ、發起人總會ノ議ノ纏ルノヲ待ッテカラガ宜シカラウト、斯ウ云フ風ニ私ハ考ヘタノデアリス、所ガ其中ニタシカアナタノ御名前デアッタカト思ヒマスガ、新聞ニドウモ朝鮮總督府ガ不都合ダ、説明ヲスル約束ヲシナガラ説明ニ來ナイト云フヤウナ記事ガ出マシタモノデスカラ、モウドウモサウ攻撃ヲセラレルト云フ事ニナリマス、是カラ行ッテ説明シテモ中ニ一旦決議マデサレタ以上ハ、之ヲ取消サレル譯ニモ行カナイダラウ、併シ事柄ハ漸次能ク分ッテ誤解モ解ケテ行クコトデアルカラ、餘リ事ヲ大袈裟ニシナイ方ガ双方ノ爲ニ宜シカラウ、實ハ私ハ斯様ニ考ヘタ、其事ガ却テ御不滿ヲ買ッタトスレバ、ソレハ洵ニ遺憾至極ノコトデアリマス、私自身ハ左様ニ考ヘタノデアリマス、此事ハ元來總理大臣ナドニハ相談モシマセヌシ、又何等ノ交渉ガアリマセヌ、朝鮮總督府ハ斯様ナ問題ニ付テ總理大臣ノ指揮ヲ受クベキモノデモナシ、又總理大臣ニ協議シナケレバナラヌモノトモ考ヘマセヌノデ、總督府ダケノ考ヲ以テ之ヲ決行シタ譯デアリマスガ、ソレガ總理大臣ノ所ニ矢張何カ斯ウ如何ニモ不都合ナ事ヲシタヤウナ工合ニ決議書ヲ突付ケラレルト云フヤウナ有様デアリマシタカラ、其點ハ少シ私共ハ心外ニ思ッタ次第デアリマス、併シ其當時小橋君ノ話デハ、是ハ本黨ノ黨議ト云フモノデモナ

イノダ、少數ノ人ノ決定シタノデアアルカラ、其人達ニ能ク話デモシテ貰ッタ宜カラウト云フヤウナ話モアリマシタケレドモ、兎ニ角本部ノ名前デ決議ガ出テ居リマスカラ、ドウモ是ガ大袈裟ニナッテ行クト云フコトハ、誤解ニ出發シテ、サウシテ拔キモ差シモナラヌヤウニナルト云フコトハ面白クナイ、斯様ニ考ヘテ當時アノ問題ニ處シテ參ッタ次第デアリマス、其間ニハ何カ祕書官ガドウシタトカ云フコトガアリマスガ、是ハ全然私ノ與リ知ラヌコトデアリマス、私ハ左様ナ考ハ初カラ持チマセヌ、之ニ疑ガアルト言ハレルナラバ、私ハ天下ノ廣居ニ立ッテ堂々ト之ヲ説明ヲスル機會ニ於テ説明スル、斯ウ云フ覺悟決心ヲ持ッテ居リマシタカラ、小橋君トノ應酬モサウ云フ趣旨ヲ以テ應酬致シタ次第デアリマス

○中山委員 モウ一ツ最後ニ、許可サレタ所ノ礦區ニ對シ所謂目論見通りニ會社ガ事業ニ著手セナカッタ場合ニ於テハ、總督府ハソレニ對シテ何等カ監督處分スルヤウナコトニナッテ居ルノデアリマセウカ、又著手シナカッタ場合ニ於テハ、會社ニ許可シタ所ノ炭田ヲ沒收スルト云フヤウナコトニナッテ居ルノデアリマセウカ、會社ガ事業ニ著手スルト否トニ拘ラズ、ソレハ解放シ放シデアルカドウカト云フコト其點ニ付テ御質問致シマス

○湯淺政府委員 只今ノ御質問ノ前ニ

今一點御尋ノ中ノ廉ノ御答ヲ漏ラシマシタカラ、其點ヲ追加致シマス、此石炭ガ内地ニ流込シテ來ル影響ニ付テ御心配ニナツテ居ルヤウナ御趣旨ノ御尋デアリマス、之ニ付キマシテハ内地ニ無煙炭ハアリマセヌ、無煙炭ノ用途ト、有煙炭ノ用途トハ全ク用途ヲ異ニシテ居リマス、無煙炭ハ大體家庭燃料トシテ近時非常ニ使ハレルヤウニナツテ參ッテ居リマス、將來ニ此用途ハ増シテ來ルダラウト思ヒマス、内地バカリデナク、朝鮮ニ於テモ其通りデアリマス、サウ云フヤウナ次第デアリマスカラ、是ガ内地ノ炭鑛業者ニ非常ニ影響ヲ及ボシ、利害相衝突スルト云フヤウナコトハ大體無イ積リニ判斷ヲ致シテ居リマス、ソレカラ只今ノ御尋ハ、會社ノ目論見通りニ之ヲ實行セシムル積リデアルカト云フ御尋デアリマス、勿論會社ノ目論見通りノ之ヲ實行セシメル積リデアリマス、併ナガラ只今御尋ノヤウニ何等カ經濟上ノ色ミナ事情モアリマセウシ、色ミナ變化モアリマセウ、左様ナ場合ニ命令條件ノ或ルモノニ背ケバ之ヲ沒收スルト云フヤウナ、サウ云フコトハ一寸實行ノ出來難イ所デアラウト思ヒマス、斯様ニ申シマスト如何ニモ弱イヤウニ御考ニナルカモ知レマセヌガ、是ハ内地ノ水利事業ニシマシテモ、各種ノ鑛山ノ許可等ニ致シマシテ矢張或ル程度ノ條件ト云フモノハ附シテアリマシテ、之ヲ根據トシテ監督ヲ加ヘ、

嚴重ニ監督スルト云フコトニハ無論致シテ居リマスケレドモ、其或ル條項ニ背反シタト云フ場合ニ容赦スベキ正當ナ理由ガアレバ、サウ云フ點モ違ヒガアツタカラト言ッテ必ズ沒收スルト云フコトヲ斷言スルマデノ勇氣ハアリマセヌ

○中山委員 許可シタニ付テノ條件ハアリマセヌカ

○湯淺政府委員 色ミ條件付デス

○中山委員 ソレヲ御説明願ヒマス

○湯淺政府委員 一寸今其材料ヲ持ッテ居リマセヌカラ……

○中山委員 大體便宜シウゴザイマス

○湯淺政府委員 今材料ヲ取りニヤラナケレバ此處ニ持ッテ居リマセヌ

○中山委員 ソレデハ宜シウゴザイマス

テ居ル所ニ依リマスト、製鐵所デハ非常ニ多量ノ石炭ヲ要スル、ソレノ所要ノ爲ニ最初許可シタ、所ガ其鑛區ニハ非常ニ石炭ガ少イ到底ソレヲ以テ所要ノ量ヲ充スコトガ出來ナイト云フガ爲ニ、更ニ五鑛區ヲ出願シテソレガ許サレタ、斯様ニ承知シテ居リマス、大體カラ申シマスト御尋ト左シタル差ハアリマセヌ

○牧山委員長 一體斯ウ云フ場合ニハ、二千萬噸アルト思ッタニ拘ラズ四十萬噸シカナイト云フ申出ニ對シテ、其代リトシテ更ニ五鑛區ヲ許可スルト云フ場合ニ於キマシテハ、前ノ鑛區ヲ返還セシメテ、新ニ與ヘルト云フコトガ極メテ穩當ナ處置ノヤウニ思ヒマス、其上デ政府ガ又色ミ調査研究サレルコトモ必要デアリマセウ、又今度ノヤウニ新會社ガ出來マシタ場合ニハ、其會社ノ手ニ依テ「ボーリング」ヲシテ見ルモノナリデアアル、三菱ノ方デハ初メノ豫期ノ通りノ炭量ヲ得ルコトガ出來ナイト云フテ、其代價ハ既ニ貰ッタノデアアルカラ、サウ云フ風ニ處置サレタ方ガ極メテ公平デ宜クハナイカト思フ、サウ云フコトニ御考慮ニナツタコトハアリマセヌカ、三菱トシテハ無用ノ炭坑ヲ持ッテ居ナクテモ宜イト思フ、ソレヨリ政府ニ返還セシメタ方ガ天下ノ疑惑ヲ去ル上ニ於テ良イ方法ノヤウニ思ヒマスガ如何デス

イマスケレドモ、此事柄ヲ知ッテ居ル者ハ大シタ疑惑ヲ持ッテ居ラヌト思ッテ居リマス、只今ノ御話ハ處分ノ不當ト言ヒマスカ、巧拙ト言ヒマスカ、豫期スル程ノ量ガ無カッタカラ、其場所ヲ返サセテ、代リヲ遣ッタラ宜カラウト、ソレモ一ツノ方法カモ知レマセヌガ、追加ヲシテヤルト云フコトモ一ノ方法デアアル、例ヘバ前ノ鑛區ニ或ル施設ヲシテアルト云フヤウナ場合ニハ、可ナリ面倒ナ複雜ナ問題ニナルト思ヒマス、是ハ私自身ガ詳シイ事ヲ知ッテ居ル譯デハアリマセヌガ、微ニ入り細ヲ穿ッテノ御質問デアリマスカラ、私ノ想像ヲ加ヘテノ事ヲ申上ゲマスレバ、或ル炭坑ノ探掘ヲスル、稼業ヲスルト云フコトニシテ、其處ニ相當ノ設備ヲスル、其設備ヲシテ掘續ケテ行ッタガ、思ッタ程出ナカッタ、何程カハアルト云フ狀態デアアル、併ナガラ此石炭ノ鑛區ノ探掘ヲ許シタノハ要スルニ製鐵事業ヲ朝鮮總督府ガ補助獎勵スルト云フ爲ニ、ソレニ必要ナル石炭ノ供給ヲスル爲ニ鑛區ノ探掘ヲ許シタト、斯ウ云フ譯デアリマス、ソレナラソレデ十分デアアルカト言ヘバ、是デモ十分トハ言ヘナイヤウデアリマス、今度ノ合同ノ分トハ是ハ關係ガアリマセヌ、關係ガアリマセヌガ製鐵所ニ要スル石炭ガ是レデモマダ足ラナイヤウデアリマス、到底今ノ十一鑛區デ十分ニ供給ガ出來ルト云フ次第デハナイノデアリマス、尙ホ附ケテ申

シマスガ、埋藏量が多量ニアルカラ多量ニ其處カラ一遍ニ採レルカト云フト、サウ云フ性質ノ炭デハナイノデアリマス、繰返シテ申シマスヤウニ、「ボケツ」状態ニナツテ居リマスカラ、或一箇所カラハ一年ニ採リ得ル量ト云フモノハ僅ナモノデス、ソレデスカラ多量ニ石炭ヲ要スルト云フ時分ニハ、相當ノ鑛區ヲ持ツテ居ナケレバ、到底事業ヲヤツテ行クコトガ出來ナイ、斯ウ云フ性質ノモノデアアルヤウデアリマス

○牧山委員長 只今ノ御話ノ中ニ、少少矛盾ガアルヤウニ思フデアリマス、先刻ノ御説明デハ、全然石炭ノ無イ所ガ二鑛區モアルノダ、斯ウ云フコトデアリマスカラ、全然石炭ノ無イ所ヲ三菱ガ持ツテ居ッテモ仕様ガナイ、ソレニ全然無イ所ニ設備ノアラウ筈ハナイ、斯ウ申スデアリマス、此點ヲ伺ヒマス

○湯淺政府委員 愈細カイ御質問デアリマスガ、私ハ一切材料ヲ持ツテ居リマセヌケレドモ、私ノ記憶ニ依リマス、斯ウ云フ状態ニナツテ居リマス、一文字ヲ引イタヤウナ、斯ウ云フ鑛區デアリマシテ、是ガ先ヅ正方形ニ六ツニ切ラレテ居ル、斯ウ云フ状態ノ六鑛區デアリマス、其内ノ此處ノ二鑛區ニハ石炭ガ多少アル、此處ノ二鑛區ニハ無クナツテ居ル、此處ノ一番端ノ所ハ小サイ鑛區ニナツテ居リマスガ、是ハ詰リ眞四角ノ、長方形デアリマセヌ爲ニ、地勢ノ關

係カラ斯ウ云フヤウニナツテ居ル所ヲ、斯ウ切ツテアル、此處ニ石炭ガ多少アルヤウデアリマス、一ツノ斯ウ云フモノニナツテ居リマスカラ、此間ノ此處ヲ返戻シロ、是ハ返戻サセテモ差支アリマスマイ、又向フハソソナニ未練ハアルマイト思ヒマス、併ナガラ石炭ノ鑛區ヲ許シテ置イテ、サウシテ炭ガ思フヤウニ無カッタ、双方トモ思惑ガ違ッタサウ云フ所ハ返セヨ、斯ウ云フヤウナ處分ハ内地デモ何處デモ私ハアルマイト思ヒマスガ、併シソレハ必シモ御無理ナ御意見トモ私ハ思ヒマセヌ、私ハ左様ニ考ヘテ居リマス

○中野委員 私ハ議事ノ進行ニ付テ申上ゲマス、今日デ質疑ハ終ルヤウナ御見込デスカ

○牧山委員長 終リマセヌ

○中野委員 ソレデハ私ハ憲政會ノ院内幹事ヲ言付ケラレテ居ルノデアリマスルガ、實ハ内輪ノ問題ハ何時デモ決セラレマスガ、例ノ「グアム」ノ設備ノ問題、補助艦艇ノ事ニ付テ本會議デ今日質問ガ出マシタノデ、總理大臣モ海軍大臣モ揃ツテ居リマス、若シ此方ノ質疑ガ今日一日デ終ルナラバ繼續シテ頂キタイケレドモ、重大問題ガ本會議ニ出テ居リマスカラ、御願ヒ出來レバアチラノ方ニ私ハ行キタイト思ヒマス

○古川委員 本日ハ此程度デ散會ヲ願ヒマス

○秋田委員 今回買収セラレントスル

私設鐵道ノ許可ノ指令書ヲ各線毎ニ示シテ頂キタイト思ヒマス、之ヲ政府委員ニ委員長カラ御請求ヲ願ヒマス

○湯淺政府委員 許可ノ指令書デスカ

○秋田委員 私設ノ許可ノ指令書、總督府カラ出願者ニ出サレタ許可ノ指令書

○湯淺政府委員 取調ベマシテ、アリマスレバ差上ゲマセウ、併シアリマセヌト向フマデ言ツテヤラナケレバナラヌ

○中野委員 今ノ古川君ノ動議ニ宣告ヲ……

○牧山委員長 秋田君ニハ材料ノ要求デシタカラ發言ヲ許シタノデアリマス——ソレデハ今日ハ是デ散會致シマス、次回ハ公報ヲ以テ御通知致シマス

午後四時五十五分散會